

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0008

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格 1・規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊					
管路		式			
管渠更生工 3-2～7路線		式			
管渠更生		式			
ストリップ管		一式			
テンプレート工法 ストリップ		m		4,386.28	
テンプレート工法 SFジョイナー		m		4,386.28	
製管工		一式			
製管工		m		356.66	
端部製管工(人力)		m		7.50	
補強鉄筋設置工 3-2,4路線		m		145.26	
補強鉄筋設置工 5-2～7路線		m		218.9	
端部緊張工 3-2,4路線		箇所		4	
端部緊張工 5-2～7路線		箇所		6	
充てん材注入工		一式			
充てん材注入工(管内注入方式)3-2,4路線		m		145.26	
充てん材注入工(管内注入方式)5-2～7路線		m		218.9	
充てん材スッパ－工		箇所		10	

06-実施-下水-0001-当初

＊ ＊本工事費＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0009

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格 1・規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
管内注入口工		箇所		298	
管口仕上工 (本管)		箇所		4	
管口仕上工 (本管)		箇所		6	
管口仕上工 (取付管)		箇所		6	
管口仕上工 (取付管)		箇所		5	
換気工		一式			
換気設備工		日		75.5	
止水工		一式			
止水工 (Y字管工法)		m		6.92	
止水工 (Y字管工法)		m		41.52	
止水工 (Y字管工法)		m		18.85	
止水工 (Y字管工法)		m		30.16	
止水工 (Y字管工法)		m		0.94	
仮設工		式			
交通管理工		式			
交通誘導警備員		一式			
交通誘導警備員B		人日		314.0	
交通誘導警備員A		人日		118.0	

06-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0010

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など		規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
直接工事費						
準備費			式			
前処理工			式			
管渠洗浄工・管内調査工			式			
既設管洗浄工			m		364.16	
既設管内調査工			m		364.16	
換気工			式			
換気設備工			日		3.0	
現場環境改善費			式			
共通仮設費 (率分)						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費 (率分)						
現場管理費計						
工事原価						
工事原価計						
一般管理費等						
契約保証費						

06-実施-下水-0001-当初

頁0-0011

[illegible]

設計書_R6-西下第7号-山の下排水区山の下幹線3-2～7管更生工事

＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0012

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊					
管路		式			
仮設工 夜間施工		式			
交通管理工		式			
交通誘導警備員		一式			
交通誘導警備員B		人日		4.0	
交通誘導警備員A		人日		1.5	
直接工事費					
準備費		式			
前処理工		式			
支障物撤去工 夜間施工		式			
モルタル除去工		箇所		8	
換気設備工 夜間施工		式			
換気設備工		日		1.0	
現場環境改善費		式			
共通仮設費 (率分)					
共通仮設費計					
純工事費					

06-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0013

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
現場管理費 (率分)					
現場管理費計					
工事原価					
工事原価計					
一般管理費等					
契約保証費					
一般管理費等計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費					

06-実施-下水-0001-当初

総括情報表

頁0-0014

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日/適用基準日 諸経費体系 ファイル名	4A 100 新潟市 実施設計書 0 当初 1 実施単価 29 新潟① 0-06. 06. 20(0) 7 下水道 R:¥設計書¥2024_令和06年度¥054西部地域下水道事務所¥01当初¥0506-西下第7号 -当初- 山の下排水区山の下幹線3-2～7管更生工事. ES5		
	当 世 代		前 世 代
工種区分 施工地域区分 現場環境改善費 前払率 契約保証に係る保証 消費税率 労務単価の補正率 週休2日補正の有無 小型車補正の有無	04 下水道工事(4) 02 大都市(2) 01 大都市・市街地 40 40% 01 金銭的保証 04 10% 21 0%:補正なし 08 ありR3.10(4週8休以上) 00 小型車補正なし		
	工事価格	消費税相当額	工事費
本工事価格	168,030,000	16,803,000	184,833,000
附帯工事価格	560,000	56,000	616,000
工事価格計	168,590,000	16,859,000	185,449,000

06-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0015

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊						X1000
管路						YG000000001 05=解除する
0 省略			式		96,460,885	
管渠更生工 3-2～7路線 夜間施工 労務単価割増係数a=1.5						YG000000002 02=1.5
0 省略			式		85,424,705	
管渠更生						YG000000003
0 省略			式		85,424,705	
ストリップ管						YG000000004
			一式		45,266,409	
ダンパー工法 ストリップ S形 幅255mm 厚12.5mm 新潟市設計単価表 0 省略	4,386.28	m		8,390	36,800,889	FDB0001 0
ダンパー工法 SFジョイナー S形 幅35mm 新潟市設計単価表 0 省略	4,386.28	m		1,930	8,465,520	FDB0002 0
製管工						YG000000004
			一式		19,116,272	
製管工 既設管径: φ1,000mm以上 φ1,500mm以下						VOSKNK2 0
ダンパー工法積算 0 省略	356.66	m		9,296	3,315,511	施工 第0-0001号内訳表

06-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0016

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
端部製管工(人力) 既設管径: φ 1,000mm以上 φ 1,500mm以下									V0TNBSKN3	0
ダンプ-工法積算 0 省略	7.50		m		23,194		173,955		施工	第0-0004号内訳表
補強鉄筋設置工 3-2,4路線 既設管径 φ 1100mm SD295 主筋D10 配力筋D10 見積歩掛 0 省略	145.26		m		41,170		5,980,354		施工	第0-0005号内訳表
補強鉄筋設置工 5-2～7路線 既設管径 φ 1200mm SD295 主筋D10 配力筋D10 見積歩掛 0 省略	218.9		m		41,680		9,123,752		施工	第0-0007号内訳表
端部緊張工 3-2,4路線 既設管径: φ 800mm以上 φ 2,000mm以下 既設管径: φ 1,100mm ダンプ-工法積算 0 省略	4		箇所		51,940		207,760		施工	第0-0009号内訳表
端部緊張工 5-2～7路線 既設管径: φ 800mm以上 φ 2,000mm以下 既設管径: φ 1,200mm ダンプ-工法積算 0 省略	6		箇所		52,490		314,940		施工	第0-0010号内訳表
充てん材注入工									YG000000004	
				一式			16,162,098			
充てん材注入工(管内注入方式)3-2,4路線 既設管径: φ 800mm以上 φ 2,000mm以下 既設管径: φ 1,100mm ダンプ-工法積算 0 省略	145.26		m		35,845		5,206,844		施工	第0-0011号内訳表
充てん材注入工(管内注入方式)5-2～7路線 既設管径: φ 800mm以上 φ 2,000mm以下 既設管径: φ 1,200mm ダンプ-工法積算 0 省略	218.9		m		39,407		8,626,192		施工	第0-0016号内訳表
充てん材サッパ-工									V0JTNST3	0
ダンプ-工法積算 0 省略	10		箇所		8,384		83,840		施工	第0-0017号内訳表

06-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0017

費目・工種・施工名称・管理費区分	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管内注入口工					VOCHUGT 0
ダクト工法積算 0 省略	298	箇所	5,294	1,577,612	施工 第0-0019号内訳表
管口仕上工 (本管) 3-2,4路線					VOEPC2 0 01=2,3
ダクト工法積算 0 省略	4	箇所	28,270	113,080	施工 第0-0020号内訳表
管口仕上工 (本管) 5-2～7路線					VOEPC2 0 01=2,5
ダクト工法積算 0 省略	6	箇所	30,720	184,320	施工 第0-0022号内訳表
管口仕上工 (取付管) φ200mm以下					VC1001 0
ダクト工法積算 0 省略	6	箇所	28,600	171,600	施工 第0-0023号内訳表
管口仕上工 (取付管) 取付管径 φ300mm 見積歩掛					VC1002 0
0 省略	5	箇所	39,722	198,610	施工 第0-0024号内訳表
換気工					YG000000004
		一式		406,416	
換気設備工					VC501 0
ダクト工法積算 0 省略	75.5	日	5,383	406,416	施工 第0-0025号内訳表
止水工					YG000000004
0 省略		一式		4,473,510	
止水工 (Y字管工法) 本管管口部 既設管径: φ1100mm 下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編 2020年版 日本 0 省略	6.92	m	35,438	245,230	VOYSSIH 0 施工 第0-0027号内訳表

06-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0018

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	止水工 (Y字管工法) 本管部 既設管径: φ1100mm 下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編 2020年版 日本 0 省略						VOYSSIH02 0
		41.52	m	49,240	2,044,444	施工 第0-0032号内訳表	
	止水工 (Y字管工法) 本管管口部 既設管径: φ1200mm 下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編 2020年版 日本 0 省略						VOYSSIH03 0
		18.85	m	35,350	666,347	施工 第0-0033号内訳表	
	止水工 (Y字管工法) 本管部 既設管径: φ1200mm 下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編 2020年版 日本 0 省略						VOYSSIH04 0
		30.16	m	49,086	1,480,433	施工 第0-0034号内訳表	
	止水工 (Y字管工法) 取付管管口部 既設管径: φ300mm 下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編 2020年版 日本 0 省略						VOYSSIH05 0
		0.94	m	39,422	37,056	施工 第0-0035号内訳表	
仮設工	夜間施工 労務単価割増係数a=1.5						YG000000444
	0 省略		式		11,036,180	02=1.5	
交通管理工							YG000002001
	0 省略		式		11,036,180		
交通誘導警備員							YG000002002
	0 省略		一式		11,036,180		
交通誘導警備員B							SWB010212 0
	0 省略	314.0	人日	24,730	7,765,220	施工 第0-0036号内訳表	
交通誘導警備員A							SWB010211 0
	0 省略	118.0	人日	27,720	3,270,960	施工 第0-0037号内訳表	

06-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0019

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費						
					96,460,885	
準備費						Z0003
			式		667,995	
前処理工						YG000000002 05=解除する
0 省略			式		667,995	
管渠洗淨工・管内調査工 夜間施工 労務単価割増係数a=1.5						YG000000003 02=1.5
0 省略			式		651,846	
既設管洗淨工 既設管径：φ1,000mm以上φ1,350mm以下						VOKNSNJ3 0
ガンパ-工法積算 0 省略	364.16	m		1,326	482,876	施工 第0-0038号内訳表
既設管内調査工 既設管径：φ800mm以上φ1,500mm未満						VDBC3013 0
ガンパ-工法積算 0 省略	364.16	m		464	168,970	施工 第0-0039号内訳表
換気工 夜間施工 労務単価割増係数a=1.5						YG000000003 02=1.5
0 省略			式		16,149	
換気設備工						VC501 0
ガンパ-工法積算 0 省略	3.0	日		5,383	16,149	施工 第0-0025号内訳表
現場環境改善費						Z0014
			式		2,228,000	

06-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0020

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	A*B										
	対象額---A=96,460,885										
	率-----B=0.0231										
	率参照額-C=96,601,385								2,228,246		
共通仮設費 (率分)	A*(B*F*L)										
	対象額---A=96,460,885					地域補正率F=1.5000					
	率-----B=0.0552										
	率参照額-C=96,601,385					休日補正率L=1.0400			8,305,000		
共通仮設費計											
									11,200,995		
純工事費											
									107,661,880		
現場管理費 (率分)	A*(B*F*L)										
	対象額---A=107,661,880					地域補正率F=1.2000					
	率-----B=0.2687										
	率参照額-C=108,026,523					休日補正率L=1.0600			36,788,000		
現場管理費計											
									36,788,000		
工事原価											
									144,449,880		
工事原価計											
									144,449,880		
一般管理費等	A*(B*H)										
	対象額---A=144,449,880					前払補正率H=1.0000					
	率-----B=0.1629										
	率参照額-C=144,938,523								23,524,120		

06-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0021

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
契約保証費	A*B						
	対象額---A=144, 449, 880						
	率-----B=0. 0004					56, 000	
一般管理費等計							
						23, 580, 120	
工事価格							
						168, 030, 000	
消費税相当額	A*B						
	対象額---A=168, 030, 000						
	率-----B=0. 1000					16, 803, 000	
工事費							
						184, 833, 000	

06-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0022

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊							X2000
管路	0 省略			式		140,500	YG000000001 05=解除する
仮設工	夜間施工 労務単価割増係数a=1.5 0 省略			式		140,500	YG000000444 02=1.5
交通管理工	0 省略			式		140,500	YG000002001
交通誘導警備員	0 省略			一式		140,500	YG000002002
交通誘導警備員B	0 省略	4.0	人日		24,730	98,920	SWB010212 0 施工 第0-0036号内訳表
交通誘導警備員A	0 省略	1.5	人日		27,720	41,580	SWB010211 0 施工 第0-0037号内訳表
直接工事費						140,500	
準備費				式		209,143	Z0003

06-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0023

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
前処理工										YG000000002	
										05=解除する	
	0 省略				式				209,143		
支障物撤去工 夜間施工 労務単価割増係数a=1.5										YG000000003	
										02=1.5	
	0 省略				式				203,760		
モルタル除去工 既設管径 φ800mm以上1500mm未満 歩掛見積										VK3002	0
	0 省略	8			箇所	25,470			203,760	施工	第0-0041号内訳表
換気設備工 夜間施工 労務単価割増係数a=1.5										YG000000003	
										02=1.5	
	0 省略				式				5,383		
換気設備工										VC501	0
	ポンプ工法積算 0 省略	1.0			日	5,383			5,383	施工	第0-0025号内訳表
現場環境改善費										Z0014	
					式				3,000		
	A*B										
	対象額---A=140,500										
共通仮設費 (率分)	率-----B=0.0231										
	率参照額-C=96,601,385								3,245		
	A*(B*F*L)										
	対象額---A=140,500				地域補正率F=1.5000						
	率-----B=0.0552										
	率参照額-C=96,601,385				休日補正率L=1.0400				12,000		
共通仮設費計											
									224,143		

06-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0024

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
純工事費										
								364,643		
現場管理費 (率分)	A*(B*F*L)									
対象額---A=364,643						地域補正率F=1.2000				
率-----B=0.2687										
率参照額-C=108,026,523						休日補正率L=1.0600		124,000		
現場管理費計										
								124,000		
工事原価										
								488,643		
工事原価計										
								488,643		
一般管理費等	A*(B*H)									
対象額---A=488,643						前払補正率H=1.0000				
率-----B=0.1629										
率参照額-C=144,938,523								70,357		
契約保証費	A*B									
対象額---A=488,643										
率-----B=0.0004								1,000		
一般管理費等計										
								71,357		
工事価格										
								560,000		

06-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0025

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
消費税相当額 A*B 対象額---A=560,000 率-----B=0.1000										
								56,000		
工事費										
								616,000		

06-実施-下水-0001-当初

製管工
既設管径: φ1,000mm以上 φ1,500mm以下

06年06月20日適用

頁0-0026

VOSKNK2

施 工 内 訳 表

施工 第0-0001号内訳表

ダンピング工法積算資料R4年度版 I-30

50

m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
土木一般世話役	1	人	42,367	42,367	RR0125 0 省略
トンネル特殊工	1	人	71,662	71,662	RR0119 0 省略
トンネル作業員	3	人	49,140	147,420	RR0120 0 省略
普通作業員	2	人	34,492	68,984	RR0102 0 省略
製管機損料 エア駆動 円形管用 φ1350mm以下 見積45,500円/日	1.0	日	45,500	45,500	FDB2003 0 省略
ストリップフィーダー損料 縦型回転方式 見積19,100円/日	1.0	日	19,100	19,100	FDB2002 0 省略
空気圧縮機 吐出量1.4m3/min吐出圧力0.7MPa 可搬式・エンジン駆動・スクュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)運転日当り換算値(無積雪地(c1))	1.0	日	1,800	1,800	FDB2004 建設機械損料表 0 省略
発動発電機運転工	1.0	日	11,340	11,340	VSK1510030 施工 第0-0002号内訳表 ダンピング工法積算 0 省略
クレーン付トラック運転工 4t 2.9t吊	1.0	日	56,600	56,600	VSK0302013 施工 第0-0003号内訳表 ダンピング工法積算 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		27	#80 0 省略
計	50	m		464,800	
小計	1	m		9,296	

06-実施-下水-0001-当初

VSK1510030 施 工 内 訳 表

施工 第0-0002号内訳表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軽油	58	l	139.5	8,091	TZJ6702002 0 省略
発動発電機[ディーゼルエンジン駆動] 60KVA	1.2	日	2,700	3,240	TLC1110011 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		9	#80 0 省略
小計	1	日		11,340	

06-実施-下水-0001-当初

クレーン付トラック運転工
4t 2.9t吊

06年06月20日適用

頁0-0028

施 工 内 訳 表

VSK0302013

施工 第0-0003号内訳表

タンク-工法積算資料R4年度版 I-31

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軽油	33.1	l	139.5	4,617	TZJ6702002 0 省略
運転手(特殊)	1.0	人	40,320	40,320	RR0114 0 省略
トラック[クレーン装置付] ベ-トラック4~4.5t積 吊能力2.9t	5.8	時間	2,010	11,658	MMJ0302013 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		5	#80 0 省略
小計	1	日		56,600	

06-実施-下水-0001-当初

端部製管工(人力)

既設管径: φ1,000mm以上 φ1,500mm以下

06年06月20日適用

頁0-0029

V0TNBSKN3 施 工 内 訳 表

施工 第0-0004号内訳表

ダンパー工法積算資料R4年度版 I-29

18 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
土木一般世話役	1	人	42,367	42,367	RR0125 0 省略
トンネル特殊工	1	人	71,662	71,662	RR0119 0 省略
トンネル作業員	3	人	49,140	147,420	RR0120 0 省略
普通作業員	2	人	34,492	68,984	RR0102 0 省略
ストリップフィーダー損料 縦型回転方式 見積19,100円/日	1.0	日	19,100	19,100	FDB2002 0 省略
発動発電機運転工	1.0	日	11,340	11,340	VSK1510030 施工 第0-0002号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
クレーン付トラック運転工 4t 2.9t吊	1.0	日	56,600	56,600	VSK0302013 施工 第0-0003号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		27	#80 0 省略
計	18	m		417,500	
小計	1	m		23,194	

06-実施-下水-0001-当初

補強鉄筋設置工 3-2, 4路線
既設管径 φ1100mm
SD295 主筋D10 配力筋D10 見積歩掛

VOHKYTD10 施 工 内 訳 表

06年06月20日適用
施工 第0-0005号内訳表
頁0-0030
10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
補強鉄筋 主筋D10 配力筋D10 見積歩掛	10	m	4,827	48,270	VOHKYTZD10 施工 第0-0006号内訳表 0 省略
土木一般世話役	1	人	42,367	42,367	RR0125 1 0 省略
トンネル特殊工	1	人	71,662	71,662	RR0119 1 0 省略
トンネル作業員	3	人	49,140	147,420	RR0120 1 0 省略
普通作業員	2	人	34,492	68,984	RR0102 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)(労務費の10%)	10	%	330,433	32,997	#71 0 省略
計	10	m		411,700	
小計	1	m		41,170	

06-実施-下水-0001-当初

補強鉄筋
主筋D10 配力筋D10
見積歩掛

VOHKYTZD10 施 工 内 訳 表

06年06月20日適用
施工 第0-0006号内訳表
1 m 当り
頁0-0031

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD295 D10	0.010	t	119,000	1,190	TZJ1102008 0 省略
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD295 D10	0.008	t	119,000	952	TZJ1102008 0 省略
鉄筋加工費 見積150円/kg	17.9	kg	150	2,685	W0001 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	m		4,827	

06-実施-下水-0001-当初

補強鉄筋設置工 5-2～7路線
既設管径 φ1200mm
SD295 主筋D10 配力筋D10 見積歩掛

VOHKYTD20 施 工 内 訳 表

06年06月20日適用
施工 第0-0007号内訳表
頁0-0032
10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
補強鉄筋 主筋D10 配力筋D10 見積歩掛	10	m	5,335	53,350	VOHKYTZD20 施工 第0-0008号内訳表 0 省略
土木一般世話役	1	人	42,367	42,367	RR0125 1 0 省略
トンネル特殊工	1	人	71,662	71,662	RR0119 1 0 省略
トンネル作業員	3	人	49,140	147,420	RR0120 1 0 省略
普通作業員	2	人	34,492	68,984	RR0102 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)(労務費の10%)	10	%	330,433	33,017	#71 0 省略
計	10	m		416,800	
小計	1	m		41,680	

06-実施-下水-0001-当初

補強鉄筋
主筋D10 配力筋D10
見積歩掛

VOHKYTZD20 施 工 内 訳 表

06年06月20日適用
施工 第0-0008号内訳表
1 m 当り
頁0-0033

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD295 D10	0.011	t	119,000	1,309	TZJ1102008 0 省略
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD295 D10	0.009	t	119,000	1,071	TZJ1102008 0 省略
鉄筋加工費 見積150円/kg	19.7	kg	150	2,955	W0001 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	m		5,335	

06-実施-下水-0001-当初

端部緊張工 3-2, 4路線
既設管径: φ800mm以上 φ2,000mm以下
既設管径: φ1,100mm
タンビ-工法積算資料R4年度版 I-34

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
トン補特殊工	0.2	人	71,662	14,332	RR0119 0 省略
トン補作業員	0.4	人	49,140	19,656	RR0120 0 省略
普通作業員	0.2	人	34,492	6,898	RR0102 0 省略
緊張リング 損料 φ1100mm用 注入口金物共 見積11,050円/式	1	式	11,050	11,050	FDB2009 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		4	#80 0 省略
小計	1	箇所		51,940	

06-実施-下水-0001-当初

端部緊張工 5-2～7路線
既設管径: φ800mm以上 φ2,000mm以下
既設管径: φ1,200mm
タンビ-工法積算資料R4年度版 I-34

06年06月20日適用
頁0-0035
1 箇所 当り

V0TNBKCH04 施 工 内 訳 表

施工 第0-0010号内訳表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
トンネル特殊工	0.2	人	71,662	14,332	RR0119 0 省略
トンネル作業員	0.4	人	49,140	19,656	RR0120 0 省略
普通作業員	0.2	人	34,492	6,898	RR0102 0 省略
緊張リング 損料 φ1200mm用 注入口金物共 見積11,600円/式	1	式	11,600	11,600	FDB2010 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		4	#80 0 省略
小計	1	箇所		52,490	

06-実施-下水-0001-当初

充てん材注入工(管内注入方式)3-2,4路線
 既設管径:φ800mm以上φ2,000mm以下
 既設管径:φ1,100mm
 ダンパー工法積算資料R4年度版 I-36.37

VOKNCHU3 施 工 内 訳 表

06年06月20日適用
 施工 第0-0011号内訳表
 42.6 m 当り
 頁0-0036

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
充てん材1 2号	3.31	m3	191,200	632,872	VC30101 施工 第0-0012号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
充てん材2 2号	0.89	m3	108,000	96,120	VC30102 施工 第0-0013号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
土木一般世話役	1	人	42,367	42,367	RR0125 0 省略
トンネル特殊工	1	人	71,662	71,662	RR0119 0 省略
トンネル作業員	3	人	49,140	147,420	RR0120 0 省略
特殊作業員	2	人	41,107	82,214	RR0101 0 省略
普通作業員	2	人	34,492	68,984	RR0102 0 省略
充てん材注入プラント損料① 高速ミキサー・アジテーター・注入ポンプ・給水ポンプ 見積123,000円/日	1.0	日	123,000	123,000	FDB3001 1 0 省略
注入ホース巻取り機損料 3/4B×2本×120m巻② 巻取速度:0.5~26m/min 1.5kW 見積35,800円/日	1.0	日	35,800	35,800	FDB3002 1 0 省略
注入ホース引込ウインチ損料φ3~5 ワイヤ×120m巻③ 巻取速度:5~20m/min 0.75kW 見積763円/日	1.0	日	763	763	FDB3003 1 0 省略
注入ホース損料 先端混合ノズル共	50	%	159,563	79,781	#01 ①~③の50% 0 省略
発動発電機運転工	1.0	日	11,340	11,340	VSK1510030 施工 第0-0002号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略

06-実施-下水-0001-当初

充てん材注入工(管内注入方式)3-2,4路線
既設管径:φ800mm以上φ2,000mm以下
既設管径:φ1,100mm
ダンパー工法積算資料R4年度版 I-36.37

VOKNCHU3 施 工 内 訳 表

06年06月20日適用
施工 第0-0011号内訳表
頁0-0037
42.6 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
給水車運転工	1.0	日	54,370	54,370	VC20701 施工 第0-0014号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
クレーン付トラック運転工 4t 2.9t吊	1.0	日	56,600	56,600	VSK0302013 施工 第0-0003号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
トラック運転工 4t	1.0	日	22,860	22,860	VSK0302004 施工 第0-0015号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		847	#80 0 省略
計	42.6	m		1,527,000	
小計	1	m		35,845	

06-実施-下水-0001-当初

充てん材 1
2号

06年06月20日適用

頁0-0038

VC30101 施 工 内 訳 表

施工 第0-0012号内訳表

ダンパー工法積算資料R4年度版 I-38

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
セメント(普通ポルトランド) 25kg袋入	0.8	t	26,000	20,800	TZJ2002006 0 省略
ダンパー工法 混和剤 DB2 混和剤 2号充てん材1 新潟市設計単価表	160.0	kg	190	30,400	FDB3004 0 省略
ダンパー工法 硬化材 DB2 硬化材 2号充てん材1 新潟市設計単価表	250.0	kg	560	140,000	FDB3005 0 省略
水(無代)	580.0	kg		0	FDB3007 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	m3		191,200	

06-実施-下水-0001-当初

充てん材 2
2号

06年06月20日適用

頁0-0039

VC30102 施 工 内 訳 表

施工 第0-0013号内訳表

ダンパー工法積算資料R4年度版 I-38

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
セメント(普通ポルチメント) 25kg袋入	1.2	t	26,000	31,200	TZJ2002006 0 省略
ダンパー工法 添加剤 DB2 添加剤 2号充てん材2 新潟市設計単価表	40.0	kg	1,920	76,800	FDB3006 0 省略
水(無代)	595.0	kg		0	FDB3007 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	m3		108,000	

06-実施-下水-0001-当初

VC20701 施 工 内 訳 表

施工 第0-0014号内訳表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軽油	31.2	1	139.5	4,352	TZJ6702002 0 省略
運転手(一般)	1.0	人	36,697	36,697	RR0115 0 省略
散水車[トラック架装型] 3800L	6.0	時間	2,220	13,320	MMJ1108007 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		1	#80 0 省略
小計	1	日		54,370	

06-実施-下水-0001-当初

トラック運転工
4t

06年06月20日適用

頁0-0041

タンク工法積算資料R4年度版 I-39

VSK0302004 施 工 内 訳 表

施工 第0-0015号内訳表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軽油	11.8	l	139.5	1,646	TZJ6702002 0 省略
運転手(一般)	0.5	人	36,697	18,348	RR0115 0 省略
トラック[普通型] 4~4.5t積	2.0	時間	1,430	2,860	MMJ0302004 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		6	#80 0 省略
小計	1	日		22,860	

06-実施-下水-0001-当初

充てん材注入工(管内注入方式)5-2～7路線
 既設管径:φ800mm以上φ2,000mm以下
 既設管径:φ1,200mm
 ダンパー工法積算資料R4年度版 I-36.37

VOKNCHU5 施 工 内 訳 表

06年06月20日適用
 施工 第0-0016号内訳表
 38.8 m 当り
 頁0-0042

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
充てん材1 2号	3.34	m3	191,200	638,608	VC30101 施工 第0-0012号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
充てん材2 2号	0.86	m3	108,000	92,880	VC30102 施工 第0-0013号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
土木一般世話役	1	人	42,367	42,367	RR0125 0 省略
トンネル特殊工	1	人	71,662	71,662	RR0119 0 省略
トンネル作業員	3	人	49,140	147,420	RR0120 0 省略
特殊作業員	2	人	41,107	82,214	RR0101 0 省略
普通作業員	2	人	34,492	68,984	RR0102 0 省略
充てん材注入プラント損料① 高速ミキサー・アジテーター・注入ポンプ・給水ポンプ 見積123,000円/日	1.0	日	123,000	123,000	FDB3001 1 0 省略
注入ホース巻取り機損料 3/4B×2本×120m巻② 巻取速度:0.5～26m/min 1.5kW 見積35,800円/日	1.0	日	35,800	35,800	FDB3002 1 0 省略
注入ホース引込ウインチ損料φ3～5 ワイヤ×120m巻③ 巻取速度:5～20m/min 0.75kW 見積763円/日	1.0	日	763	763	FDB3003 1 0 省略
注入ホース損料 先端混合ノズル共	50	%	159,563	79,781	#01 ①～③の50% 0 省略
発動発電機運転工	1.0	日	11,340	11,340	VSK1510030 施工 第0-0002号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略

06-実施-下水-0001-当初

充てん材注入工(管内注入方式)5-2～7路線
既設管径:φ800mm以上φ2,000mm以下
既設管径:φ1,200mm
ダンパー工法積算資料R4年度版 I-36.37

VOKNCHU5 施 工 内 訳 表

06年06月20日適用
施工 第0-0016号内訳表
頁0-0043
38.8 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
給水車運転工	1.0	日	54,370	54,370	VC20701 施工 第0-0014号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
クレーン付トラック運転工 4t 2.9t吊	1.0	日	56,600	56,600	VSK0302013 施工 第0-0003号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
トラック運転工 4t	1.0	日	22,860	22,860	VSK0302004 施工 第0-0015号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		351	#80 0 省略
計	38.8	m		1,529,000	
小計	1	m		39,407	

06-実施-下水-0001-当初

VOJTNST3 施 工 内 訳 表

施工 第0-0017号内訳表
1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
普通作業員	0.19	人	34,492	6,553	RR0102 0 省略
急結モルタル工(配合1:2)	0.005	m3	366,300	1,831	VC30201 施工 第0-0018号内訳表 ダンビ-工法積算 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	箇所		8,384	

06-実施-下水-0001-当初

VC30201 施 工 内 訳 表

施工 第0-0018号内訳表

ダンパー工法積算資料R4年度版 I-40

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
止水セメント	620.0	kg	515	319,300	TZJ2005001 0 省略
コンクリート用骨材 砂(洗い) 荒目	0.48	m3	4,350	2,088	TZJ2104001 0 省略
水 (無代)	310.0	kg		0	FDB3007 0 省略
普通作業員	1.3	人	34,492	44,839	RR0102 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		73	#80 0 省略
小計	1	m3		366,300	

06-実施-下水-0001-当初

VOCHUGT 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
トソ特殊工	1.0	人	71,662	71,662	RR0119 1 0 省略
トソ作業員	1.0	人	49,140	49,140	RR0120 1 0 省略
管内注入口ﾌﾟﾗｸﾞ [＊] φ36 見積1,500円/個	35	個	1,500	52,500	W0001 0 省略
諸雑費(率+まるめ)	10	%	120,802	11,998	#71 穿孔機・工具等 0 省略
計	35	箇所		185,300	
小計	1	箇所		5,294	

06-実施-下水-0001-当初

管口仕上工（本管）
3-2, 4路線

06年06月20日適用
頁0-0047

V0EPC2 施 工 内 訳 表

ダンビ-工法積算資料R4年度版 I-41 施工 第0-0020号内訳表 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
エポキシコーキング工	2.3	リットル	12,288	28,262	VC40101 施工 第0-0021号内訳表
諸雑費(まるめ)	1	式		8	ダンビ-工法積算 0 省略 #80 0 省略
小計	1	箇所		28,270	
01=2.3 エポキシコーキング量 (リットル)					

06-実施-下水-0001-当初

VC40101 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
エボ キンコーキング 材 見積3,696円/㎡	5.5	㎡	3,696	20,328	FDB4001 0 省略
特殊作業員	1.0	人	41,107	41,107	RR0101 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		5	#80 0 省略
計	5	㎡		61,440	
小計	1	㎡		12,288	

06-実施-下水-0001-当初

管口仕上工（本管）
5-2～7路線

06年06月20日適用
頁0-0049

V0EPC2 施 工 内 訳 表

ダンビ-工法積算資料R4年度版 I-41 施工 第0-0022号内訳表 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
エポキシコーキング工	2.5	リットル	12,288	30,720	VC40101 施工 第0-0021号内訳表
諸雑費(まるめ)	1	式		0	ダンビ-工法積算 0 省略 #80 0 省略
小計	1	箇所		30,720	
01=2.5 エポキシコーキング量(リットル)					

06-実施-下水-0001-当初

管口仕上工（取付管）
φ200mm以下

タンク-工法積算資料R4年度版 I-51

VC1001 施 工 内 訳 表

施工 第0-0023号内訳表
5 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
エポキシコーキング材 見積3,696円/㎡	2.0	㎡	3,696	7,392	FDB4001 0 省略
特殊作業員	3.0	人	41,107	123,321	RR0101 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)	10	%	123,321	12,287	#71 穿孔機・工具等 0 省略
計	5	箇所		143,000	
小計	1	箇所		28,600	

06-実施-下水-0001-当初

管口仕上工（取付管）
取付管径 φ 300mm
見積歩掛

VC1002 施 工 内 訳 表

06年06月20日適用
施工 第0-0024号内訳表
頁0-0051
3.6 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
エポキシコーキング材 見積3,696円/1kg	2.0	リットル	3,696	7,392	FDB4001 0 省略
特殊作業員	3.0	人	41,107	123,321	RR0101 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ) 労務費の10%	10	%	123,321	12,287	#71 穿孔機・工具等 0 省略
計	3.6	箇所		143,000	
小計	1	箇所		39,722	

06-実施-下水-0001-当初

VC501 施 工 内 訳 表

施工 第0-0025号内訳表
1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軸流ファン[軸流式・定風量型] 50/60m3/min	2.0	日	140	280	MMJ1204001 1 0 省略
発動発電機運転工 3kVA	2.0	日	2,535	5,070	VC50101 施工 第0-0026号内訳表 ダンビ-工法積算 0 省略
諸雑費(率+まるめ)	12	%	280	33	#71 0 省略
小計	1	日		5,383	

06-実施-下水-0001-当初

発動発電機運転工
3kVA

06年06月20日適用
頁0-0053

タンク工法積算資料R4年度版 I-42

VC50101 施 工 内 訳 表

施工 第0-0026号内訳表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
ガソリン レギュラー	12	l	150.5	1,806	TZJ6704001 0 省略
発動発電機[ガソリンエンジン駆動] 3KVA	1.2	日	608	729	TLC1110002 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	日		2,535	

06-実施-下水-0001-当初

止水工 (Y字管工法)

本管管口部 既設管径: φ1100mm

下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-

2020年版 日本下水道協会 P135

VOYSSIH

施 工 内 訳 表

施工 第0-0027号内訳表

06年06月20日適用

頁0-0054

18

m

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
止水工 (Y字管工法)	1	日	474,100	474,100	VK4011 施工 第0-0028号内訳表
下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-					2020年版 日本 0 省略
止水材 (注入材)	612.0	kg	200	122,400	FK4002 1
無機系懸濁型 セメント系					0 省略
見積200円/kg					
止水セメント	56.5	kg	515	29,097	TZJ2005001
					0 省略
消耗品 (注入ホス他)	10	%	122,400	12,240	#01
					0 省略
諸雑費 (まるめ)	1	式		63	#80
					0 省略
計	18	m		637,900	
小計	1	m		35,438	

06-実施-下水-0001-当初

止水工 (Y字管工法)

06年06月20日適用

頁0-0055

下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-
2020年版 日本下水道協会 P135

VK4011

施 工 内 訳 表

施工 第0-0028号内訳表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
特殊作業員	1	人	41,107	41,107	RR0101 0 省略
普通作業員	2	人	34,492	68,984	RR0102 0 省略
はつり工	1	人	45,517	45,517	RR0137 0 省略
左官	1	人	43,470	43,470	RR0135 0 省略
補修プラント車運転工 100kW 3t 下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-	1	日	202,600	202,600	VK4111 施工 第0-0029号内訳表 2020年版 日本 0 省略
給水車運転工 132kW 4t 下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-	1	日	67,600	67,600	VK1026 施工 第0-0030号内訳表 2020年版 日本 0 省略
トラック運転工 98kW 2t 下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-	1	日	4,319	4,319	VK4006 施工 第0-0031号内訳表 2020年版 日本 0 省略
電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ38~40mm	1	日	416	416	MMJ2083002 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		87	#80 0 省略
小計	1	日		474,100	

06-実施-下水-0001-当初

補修プラント車運転工

100kW 3t

下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-

2020年版 日本下水道協会 P129

VK4111

施 工 内 訳 表

施工 第0-0029号内訳表

06年06月20日適用

頁0-0056

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軽油	25.80	l	139.5	3,599	TZJ6702002 0 省略
土木一般世話役	1	人	42,367	42,367	RR0125 0 省略
特殊作業員	2	人	41,107	82,214	RR0101 0 省略
普通作業員	1	人	34,492	34,492	RR0102 0 省略
補修プラント車損料 100kW 3t 単価・歩掛算出明細書参照	6	時間	6,640	39,840	F2023012 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		88	#80 0 省略
小計	1	日		202,600	

06-実施-下水-0001-当初

給水車運転工

132kW 4t

下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-

2020年版 日本下水道協会 P114

VK1026

施 工 内 訳 表

施工 第0-0030号内訳表

06年06月20日適用

頁0-0057

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軽油	34.80	1	139.5	4,854	TZJ6702002 0 省略
運転手(一般)	1	人	36,697	36,697	RR0115 0 省略
給水車損料 132kW 4t 単価・歩掛算出明細書参照	6	時間	4,340	26,040	F2023006 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		9	#80 0 省略
小計	1	日		67,600	

06-実施-下水-0001-当初

トラック運転工

98kW 2t

下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-

2020年版 日本下水道協会 P108

VK4006

施 工 内 訳 表

施工 第0-0031号内訳表

06年06月20日適用

頁0-0058

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軽油	12.60	l	139.5	1,757	TZJ6702002 0 省略
トラック[普通型] 2t積	3	時間	854	2,562	MMJ0302002 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	日		4,319	

06-実施-下水-0001-当初

止水工 (Y字管工法)

本管部 既設管径: φ1100mm

下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-

2020年版 日本下水道協会 P135

VOYSSIH02 施 工 内 訳 表

施工 第0-0032号内訳表

06年06月20日適用

頁0-0059

15 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
止水工 (Y字管工法)	1	日	474,100	474,100	VK4011 施工 第0-0028号内訳表
下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-					2020年版 日本 0 省略
止水材 (注入材)	1,018.5	kg	200	203,700	FK4002 1
無機系懸濁型 セメント系					0 省略
見積200円/kg					
止水セメント	78.45	kg	515	40,401	TZJ2005001
					0 省略
消耗品 (注入ホス他)	10	%	203,700	20,370	#01
					0 省略
諸雑費 (まるめ)	1	式		29	#80
					0 省略
計	15	m		738,600	
小計	1	m		49,240	

06-実施-下水-0001-当初

止水工 (Y字管工法)

本管管口部 既設管径: φ1200mm

下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-

2020年版 日本下水道協会 P135

VOYSSIH03 施 工 内 訳 表

施工 第0-0033号内訳表

06年06月20日適用

頁0-0060

18 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
止水工 (Y字管工法)	1	日	474,100	474,100	VK4011 施工 第0-0028号内訳表
下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-					2020年版 日本 0 省略
止水材 (注入材)	604.8	kg	200	120,960	FK4002 1
無機系懸濁型 セメント系					0 省略
見積200円/kg					
止水セメント	56.5	kg	515	29,097	TZJ2005001
					0 省略
消耗品 (注入ホス他)	10	%	120,960	12,096	#01
					0 省略
諸雑費 (まるめ)	1	式		47	#80
					0 省略
計	18	m		636,300	
小計	1	m		35,350	

06-実施-下水-0001-当初

止水工 (Y字管工法)

本管部 既設管径: φ1200mm

下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-

2020年版 日本下水道協会 P135

VOYSSIH04

施 工 内 訳 表

施工 第0-0034号内訳表

06年06月20日適用

頁0-0061

15 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
止水工 (Y字管工法)	1	日	474,100	474,100	VK4011 施工 第0-0028号内訳表
下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-					2020年版 日本 0 省略
止水材 (注入材) 無機系懸濁型 セメント系 見積200円/㎡	1,008.0	㎡	200	201,600	FK4002 1 0 省略
止水セメント	78.45	kg	515	40,401	TZJ2005001 0 省略
消耗品 (注入ホス他)	10	%	201,600	20,160	#01 0 省略
諸雑費 (まるめ)	1	式		39	#80 0 省略
計	15	m		736,300	
小計	1	m		49,086	

06-実施-下水-0001-当初

止水工 (Y字管工法)
取付管管口部 既設管径: φ 300mm
下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-
2020年版 日本下水道協会 P135

VOYSSIH05 施 工 内 訳 表

06年06月20日適用
施工 第0-0035号内訳表
18 m 当り
頁0-0062

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
止水工 (Y字管工法)	1	日	474,100	474,100	VK4011 施工 第0-0028号内訳表
下水道施設維持管理積算要領 -管路施設編-					2020年版 日本 0 省略
止水材 (注入材) 無機系懸濁型 セメント系 見積200円/㎡	937.8	㎡	200	187,560	FK4002 1 0 省略
止水セメント	56.52	kg	515	29,107	TZJ2005001 0 省略
消耗品 (注入ホス他)	10	%	187,560	18,756	#01 0 省略
諸雑費 (まるめ)	1	式		77	#80 0 省略
計	18	m		709,600	
小計	1	m		39,422	

06-実施-下水-0001-当初

SWB010212 施 工 内 訳 表

施工 第0-0036号内訳表

1 人日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
交通誘導警備員B	1.000	人	24,727	24,727	RR0804 1 0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式		3	#80 0 省略
小計	1	人日		24,730	

06-実施-下水-0001-当初

SWB010211 施 工 内 訳 表

施工 第0-0037号内訳表

1 人日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
交通誘導警備員A	1.000	人	27,720	27,720	RR0803 1 0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式		0	#80 0 省略
小計	1	人日		27,720	

06-実施-下水-0001-当初

既設管洗浄工

既設管径: φ1,000mm以上 φ1,350mm以下

06年06月20日適用

頁0-0065

VOKNSNJ3

施 工 内 訳 表

施工 第0-0038号内訳表

ダンピング工法積算資料R4年度版 I-35

200 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
土木一般世話役	1.0	人	42,367	42,367	RR0125 0 省略
トンネル特殊工	1.0	人	71,662	71,662	RR0119 0 省略
トンネル作業員	1.0	人	49,140	49,140	RR0120 0 省略
普通作業員	1.0	人	34,492	34,492	RR0102 0 省略
高压洗浄機[工事用・モータ駆動] 吐出量30.8ℓ/min 圧力7.8MPa 運転日当たり換算値(無積雪地(c1))	1.0	日	1,870	1,870	FDB2006 建設機械損料表 0 省略
発動発電機運転工	1.0	日	11,340	11,340	VSK1510030 施工 第0-0002号内訳表 ダンピング工法積算 0 省略
給水車運転工	1.0	日	54,370	54,370	VC20701 施工 第0-0014号内訳表 ダンピング工法積算 0 省略
洗浄水(無代)	5.0	m3		0	FDB2007 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		59	#80 0 省略
計	200	m		265,300	
小計	1	m		1,326	

06-実施-下水-0001-当初

既設管内調査工
既設管径：φ800mm以上φ1,500mm未満

06年06月20日適用
頁0-0066

ポンプ工法積算資料R4年度版 I-48

VDBC3013 施 工 内 訳 表

施工 第0-0039号内訳表
500 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
測量技師 管路調査技師	1	人	70,650	70,650	RR0603 0 省略
測量技師補 管路調査助手	1	人	55,350	55,350	RR0604 0 省略
普通作業員 管路調査作業員	3	人	34,492	103,476	RR0102 0 省略
ライトバン運転工 1500cc	1.0	日	2,773	2,773	VDBC4031 施工 第0-0040号内訳表 ポンプ工法積算 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		51	#80 0 省略
計	500	m		232,300	
小計	1	m		464	

06-実施-下水-0001-当初

ライトバン運転工
1500cc

06年06月20日適用
頁0-0067

タンク工法積算資料R4年度版 I-48

VDBC4031 施 工 内 訳 表

施工 第0-0040号内訳表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
ガソリン レギュラー	7.8	l	150.5	1,173	TZJ6704001 0 省略
ライトバン損料 二輪駆動 排気量1.5ℓ 標準供用1日当たり換算値d1	1.0	日	1,600	1,600	FDBRAITO 建設機械損料表 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	日		2,773	

06-実施-下水-0001-当初

モルタル除去工
既設管径 φ800mm以上1500mm未満
歩掛見積

VK3002 施 工 内 訳 表

06年06月20日適用
施工 第0-0041号内訳表
10 箇所 当り
頁0-0068

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
土木一般世話役	1	人	42,367	42,367	RR0125 1 0 省略
トンネル特殊工	1	人	71,662	71,662	RR0119 1 0 省略
トンネル作業員	2	人	49,140	98,280	RR0120 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)	20	%	212,309	42,391	#71 労務費の20% 0 省略
計	10	箇所		254,700	
小計	1	箇所		25,470	

06-実施-下水-0001-当初

登録単価一覧表

頁0-0069

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価 世代(0. 4. 8)	単価 世代(1. 5. 9)	単価 世代(2. 6)	単価 世代(3. 7)	特殊集計 集計区分
FDB2002	スリップフィーダー損料 縦型回転方式 見積19,100円/日	日	19,100				571
FDB2003	製管機損料 エア駆動 円形管用 φ1350mm以下 見積45,500円/日	日	45,500				571
FDB2004	空気圧縮機 吐出量1.4m ³ /min吐出圧力0.7MPa 可搬式・エンジン駆動・スクュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)運転日当り換算値(無積雪地(c1))	日	1,800				571
FDB2009	緊張リンク損料 φ1100mm用 注入口金物共 見積11,050円/式	式	11,050				571
FDB2010	緊張リンク損料 φ1200mm用 注入口金物共 見積11,600円/式	式	11,600				571
FDB3001	充てん材注入プラント損料 高速ミキサ・アジテーター・注入ポンプ・給水ポンプ 見積123,000円/日	日	123,000				571
FDB3002	注入ホース巻取り機損料 3/4B×2本×120m巻 巻取速度:0.5~26m/min 1.5KW 見積35,800円/日	日	35,800				571
FDB3003	注入ホース引込ウインチ損料 φ3~5 ワイヤ×120m巻 巻取速度:5~20m/min 0.75kW 見積763円/日	日	763				571
FK4002	止水材(注入材) 無機系懸濁型 セメント系 見積200円/㎡	㎡	200				571
FDB2006	高圧洗浄機[工事用・モータ駆動] 吐出量30.8ℓ/min 圧力7.8MPa 運転日当たり換算値(無積雪地(c1))	日	1,870				571
FDB3004	ガンビ工法 混和剤 DB2 混和剤 2号充てん材1 新潟市設計単価表	kg	190				571
FDB3005	ガンビ工法 硬化材 DB2 硬化材 2号充てん材1 新潟市設計単価表	kg	560				571

06-実施-下水-0001-当初

登録単価一覧表

頁0-0070

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価 世代 (0. 4. 8)	単価 世代 (1. 5. 9)	単価 世代 (2. 6)	単価 世代 (3. 7)	特殊集計 集計区分
FDB3006	ゲンビ-工法 添加剤 DB2 添加剤 2号充てん材2 新潟市設計単価表	kg	1,920				571
FDB3007	水 (無代)	kg	0				571
FDB4001	エポキシコーキング材 見積3,696円/㎡	㎡	3,696				571
FDB2007	洗浄水 (無代)	m3	0				571
F2023012	補修プラント車損料 100kW 3t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	6,640				571
F2023006	給水車損料 132kW 4t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	4,340				571
FDBRAIT0	ライトバン損料 二輪駆動 排気量1.5ℓ 標準供用1日当たり換算値d1	日	1,600				571
FDB0001	ゲンビ-工法 ストリップ S形 幅255mm 厚12.5mm 円形管 新潟市設計単価表	m	8,390				571
FDB0002	ゲンビ-工法 SFジョイナー S形 幅35mm 円形管 新潟市設計単価表	m	1,930				571

06-実施-下水-0001-当初

特殊基礎単価一覧表

頁0-0071

[illegible]

06-实施-下水-0001-当初

単価入力データ一覧表①

頁0-0072

上位 コード	上位名称	第番号	単価 コード	単価名称 規格 1,規格 2,摘要名称	単位	金額
YG000000004	ストリップ管		FDB0001	ダンプ工法 ストリップ S形 幅255mm 厚12.5mm 新潟市設計単価表	m	8,390
YG000000004	ストリップ管		FDB0002	ダンプ工法 SFジョイナー S形 幅35mm 新潟市設計単価表	m	1,930
V0SKNK2	製管工	第0-0001号	FDB2003	製管機損料 エア駆動 円形管用 φ1350mm以下 見積45,500円/日	日	45,500
V0SKNK2	製管工	第0-0001号	FDB2002	ストリップフィーダー損料 縦型回転方式 見積19,100円/日	日	19,100
V0SKNK2	製管工	第0-0001号	FDB2004	空気圧縮機 吐出量1.4m3/min吐出圧力0.7MPa 可搬式・エンジン駆動・スクリーン型・排出ガス対策型(第1次基準値)運転日当り換算値(無積雪地(c1)) 建設機械損料表	日	1,800
V0TNBSKN3	端部製管工(人力)	第0-0004号	FDB2002	ストリップフィーダー損料 縦型回転方式 見積19,100円/日	日	19,100
VOHKYTD10	補強鉄筋設置工 3-2,4路線	第0-0005号	W0001	鉄筋加工費 見積150円/kg	kg	150
VOHKYTD20	補強鉄筋設置工 5-2～7路線	第0-0007号	W0001	鉄筋加工費 見積150円/kg	kg	150
V0TNBKCH03	端部緊張工 3-2,4路線	第0-0009号	FDB2009	緊張リンク損料 φ1100mm用 注入口金物共 見積11,050円/式	式	11,050

単価入力データ一覧表①

頁0-0073

上位 コード	上位名称	第番号	単価 コード	単価名称 規格 1, 規格 2, 摘要名称	単位	金額
V0TNBKCH04	端部緊張工 5-2～7路線	第0-0010号	FDB2010	緊張リフト損料 φ1200mm用 注入口金物共 見積11,600円/式	式	11,600
V0KNCHU3	充てん材注入工(管内注入方式)3-2,4路線	第0-0011号	FDB3004	ゲル工法 混和剤 DB2 混和剤 2号充てん材1 新潟市設計単価表	kg	190
V0KNCHU3	充てん材注入工(管内注入方式)3-2,4路線	第0-0011号	FDB3005	ゲル工法 硬化材 DB2 硬化材 2号充てん材1 新潟市設計単価表	kg	560
V0KNCHU3	充てん材注入工(管内注入方式)3-2,4路線	第0-0011号	FDB3007	水(無代)	kg	0
V0KNCHU3	充てん材注入工(管内注入方式)3-2,4路線	第0-0011号	FDB3006	ゲル工法 添加剤 DB2 添加剤 2号充てん材2 新潟市設計単価表	kg	1,920
V0KNCHU3	充てん材注入工(管内注入方式)3-2,4路線	第0-0011号	FDB3007	水(無代)	kg	0
V0KNCHU3	充てん材注入工(管内注入方式)3-2,4路線	第0-0011号	FDB3001	充てん材注入プラント損料① 高速ミサー・アerator・注入ポンプ・給水ポンプ 見積123,000円/日	日	123,000
V0KNCHU3	充てん材注入工(管内注入方式)3-2,4路線	第0-0011号	FDB3002	注入ホース巻取り機損料 3/4B×2本×120m巻② 巻取速度:0.5～26m/min 1.5kW 見積35,800円/日	日	35,800
V0KNCHU3	充てん材注入工(管内注入方式)3-2,4路線	第0-0011号	FDB3003	注入ホース引込機損料φ3～5 7インチ×120m巻③ 巻取速度:5～20m/min 0.75kW 見積763円/日	日	763

単価入力データ一覧表①

頁0-0074

上位 コード	上位名称	第番号	単価 コード	単価名称 規格 1,規格 2,摘要名称	単位	金額
V0KNCHU5	充てん材注入工(管内注入方式)5-2～7路線	第0-0016号	FDB3004	ポンプ工法 混和剤 DB2 混和剤 2号充てん材1 新潟市設計単価表	kg	190
V0KNCHU5	充てん材注入工(管内注入方式)5-2～7路線	第0-0016号	FDB3005	ポンプ工法 硬化材 DB2 硬化材 2号充てん材1 新潟市設計単価表	kg	560
V0KNCHU5	充てん材注入工(管内注入方式)5-2～7路線	第0-0016号	FDB3007	水(無代)	kg	0
V0KNCHU5	充てん材注入工(管内注入方式)5-2～7路線	第0-0016号	FDB3006	ポンプ工法 添加剤 DB2 添加剤 2号充てん材2 新潟市設計単価表	kg	1,920
V0KNCHU5	充てん材注入工(管内注入方式)5-2～7路線	第0-0016号	FDB3007	水(無代)	kg	0
V0KNCHU5	充てん材注入工(管内注入方式)5-2～7路線	第0-0016号	FDB3001	充てん材注入プラント損料① 高速ミキサー・ポンプ・注入ポンプ・給水ポンプ 見積123,000円/日	日	123,000
V0KNCHU5	充てん材注入工(管内注入方式)5-2～7路線	第0-0016号	FDB3002	注入ホース巻取り機損料 3/4B×2本×120m巻② 巻取速度:0.5～26m/min 1.5kW 見積35,800円/日	日	35,800
V0KNCHU5	充てん材注入工(管内注入方式)5-2～7路線	第0-0016号	FDB3003	注入ホース引込クランプ損料φ3～5 ワイヤ×120m巻③ 巻取速度:5～20m/min 0.75kW 見積763円/日	日	763
V0JTNST3	充てん材ストップ工	第0-0017号	FDB3007	水(無代)	kg	0

単価入力データ一覧表①

頁0-0075

上位 コード	上位名称	第番号	単価 コード	単価名称 規格 1, 規格 2, 摘要名称	単位	金額
VOCHUGT	管内注入口工	第0-0019号	W0001	管内注入口プラグ φ36 見積1,500円/個	個	1,500
VOEPC2	管口仕上工（本管）	第0-0020号	FDB4001	エポキシコーキング材 見積3,696円/㎡	㎡	3,696
VOEPC2	管口仕上工（本管）	第0-0022号	FDB4001	エポキシコーキング材 見積3,696円/㎡	㎡	3,696
VC1001	管口仕上工（取付管）	第0-0023号	FDB4001	エポキシコーキング材 見積3,696円/㎡	㎡	3,696
VC1002	管口仕上工（取付管）	第0-0024号	FDB4001	エポキシコーキング材 見積3,696円/㎡	㎡	3,696
VOYSSIH	止水工（Y字管工法）	第0-0027号	F2023012	補修プラント車損料 100kW 3t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	6,640
VOYSSIH	止水工（Y字管工法）	第0-0027号	F2023006	給水車損料 132kW 4t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	4,340
VOYSSIH	止水工（Y字管工法）	第0-0027号	FK4002	止水材（注入材） 無機系懸濁型 セメント系 見積200円/㎡	㎡	200
VOYSSIH02	止水工（Y字管工法）	第0-0032号	F2023012	補修プラント車損料 100kW 3t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	6,640

単価入力データ一覧表①

頁0-0076

上位 コード	上位名称	第番号	単価 コード	単価名称 規格 1,規格 2,摘要名称	単位	金額
VOYSSIH02	止水工 (Y字管工法)	第0-0032号	F2023006	給水車損料 132kW 4t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	4,340
VOYSSIH02	止水工 (Y字管工法)	第0-0032号	FK4002	止水材 (注入材) 無機系懸濁型 セメント系 見積200円/㎡	㎡	200
VOYSSIH03	止水工 (Y字管工法)	第0-0033号	F2023012	補修プラント車損料 100kW 3t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	6,640
VOYSSIH03	止水工 (Y字管工法)	第0-0033号	F2023006	給水車損料 132kW 4t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	4,340
VOYSSIH03	止水工 (Y字管工法)	第0-0033号	FK4002	止水材 (注入材) 無機系懸濁型 セメント系 見積200円/㎡	㎡	200
VOYSSIH04	止水工 (Y字管工法)	第0-0034号	F2023012	補修プラント車損料 100kW 3t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	6,640
VOYSSIH04	止水工 (Y字管工法)	第0-0034号	F2023006	給水車損料 132kW 4t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	4,340
VOYSSIH04	止水工 (Y字管工法)	第0-0034号	FK4002	止水材 (注入材) 無機系懸濁型 セメント系 見積200円/㎡	㎡	200
VOYSSIH05	止水工 (Y字管工法)	第0-0035号	F2023012	補修プラント車損料 100kW 3t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	6,640

単 価 入 力 デ ー タ 一 覧 表 ①

頁0-0077

上 位 コード	上 位 名 称	第 番 号	単 価 コード	単 価 名 称 規 格 1,規 格 2,摘 要 名 称	単 位	金 額
VOYSSIH05	止水工 (Y字管工法)	第0-0035号	F2023006	給水車損料 132kW 4t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	4,340
VOYSSIH05	止水工 (Y字管工法)	第0-0035号	FK4002	止水材 (注入材) 無機系懸濁型 セメント系 見積200円/㎡	㎡	200
VOKNSNJ3	既設管洗浄工	第0-0038号	FDB2006	高圧洗浄機[工事用・モータ駆動] 吐出量30.8ℓ/min 圧力7.8MPa 運転日当たり換算値(無積雪地(c1)) 建設機械損料表	日	1,870
VOKNSNJ3	既設管洗浄工	第0-0038号	FDB2007	洗浄水 (無代)	m3	0
VDBC3013	既設管内調査工	第0-0039号	FDBRAIT0	ライトポン損料 二輪駆動 排気量1.5ℓ 標準供用1日当たり換算値d1 建設機械損料表	日	1,600

山の下排水区山の下幹線3-2～7管更生工事

数量計算書【当初】

令和6年6月

ダンビー工法積算資料 令和4年度版

複 合 管 数 量 総 括 表 (補 助)

設計条件	名 称	規 格	3-2路線	4路線	5-2路線	6路線	7路線	設計採用数量	単 位	備 考
昼夜区分 誘導員配置人数	既設管径	φ 1100	φ 1100	φ 1100	φ 1200	φ 1200	φ 1200		mm	
	更生管径	φ 1035	φ 1035	φ 1035	φ 1135	φ 1135	φ 1135		mm	
	路幅延長	40.16	40.16	108.10	69.70	93.00	61.00		m	
	更生管延長	38.66	38.66	106.60	68.20	91.50	59.20		m	
	施工日数	9.0	9.0	24.0	15.5	19.0	12.5		日	
			夜間施工 4人配置	夜間施工 4人配置	夜間施工 4人配置	夜間施工 4人配置	夜間施工 4人配置			
			直接工事費							
管渠更生工(複合管) 材料費	更生材料(標準ストリッパ) 更生材料(SFゾイター)	S形	442.62	1210.34	852.00	1140.92	740.40	4386.28 4386.28	m m	
	製管工 スベーパー取付工 取付工日当り材料量	○形(頂部) ○形(側部) ○形(底部)	1.50 37.16 2	1.50 105.10 2	1.50 66.70 2	1.50 90.00 2	1.50 57.70 2	7.50 356.68 4	m m m 箇所	
	端部製管工 製管工(直線区間) 端部架張工	φ 1100 φ 1200						6	箇所	
	充てん材注入工	充てん材2号 φ 1100 充てん材2号 φ 1200 1箇所当り急結モルタル量0.005m3	38.66	106.60				145.26 218.90 10	m m 箇所	
	充てん材スッパ－工 管内注入工		2 32	2 87	2 56	2 75	2 48	298	箇所 箇所	
	管口仕上工 管口仕上げ工	φ 1100 φ 1200	2	2	2	2	2	4 6	箇所 箇所	
	換気工 換気設備工		8.02	22.87	14.75	17.73	11.84	75.2 75.5	日 日	誘導員等算定 表参照
	止水工 止水工	本管Y字管注入工(φ1100) 本管管口Y字管注入工(φ1100) 本管Y字管注入工(φ1200) 本管管口Y字管注入工(φ1200)	0.00 0 3.46 1	41.52 12 3.46 1				41.52 6.92 30.16 18.85	m 箇所 m 箇所 m 箇所	
	止水工	取付管管口注入工(φ150) 取付管管口注入工(φ200) 取付管管口注入工(φ300)	0.47 m/箇所 0.63 m/箇所 0.94 m/箇所						m 箇所 m 箇所	
		取付管管口注入工(φ300) 止水工延長合計	0.94 m/箇所 3.46		44.98	26.39	15.08	0.94 1 8.48	0.94 1 8.48	箇所 箇所 箇所
取付管工 取付管口仕上工(φ200以下) 取付管口仕上工(φ200超)										
既設管補強工 相道鉄筋設置工	φ 1100 φ 1200	2 0	3 2	1 1	0 1	0 1	0 1	6 5	箇所 箇所	
交通管理工	交通誘導警備員B(交代要員有3人配置) 交通誘導警備員A(交代要員有1人配置)	38.66	106.60	68.20	91.50	59.20	145.26 218.90 314.0 118.0	m m 人日 人日		誘導員等算定 表参照
準備費										
前処理工	既設管洗浄工 既設管洗浄工 既設管調査工 換気工 換気設備工		38.66 38.66	106.60 106.60	68.20 68.20	91.50 91.50	59.20 59.20	304.16 304.16 2.6 3.0	m m m 日	

複合管数量集計表(補助) (1)

1/3

名 称	規 格	3-2路線	4路線	設計数量	単 位	備 考
設計条件						
	既設管径 更生管径 路線延長 更生管延長 施工日数	φ 1100 φ 1035 40.16 38.66 9.0	φ 1100 φ 1035 108.10 106.60 24.0	148.26 145.26 33.00	mm m m 日	
昼夜区分 誘導員配置人数		夜間施工 4人配置	夜間施工 4人配置			
直接工事費						
管渠更生工(複合管)						
材料費	更生材料(標準ストリップ) 更生材料(SFジョイナー)	442.62 442.62	1210.34 1210.34	1652.96 1652.96	m m	
製管工	スベーター取付工 取付工日当り材料量	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 1.50 37.16 2	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 1.50 105.10 2	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 3.00 142.26 4	m m m m m m m 箇所	
	端部製管工 製管工(直線区間) 端部築保工					
充填材注入工	充填材注入工 充填材ストリップ工 管内注入口工	38.66 2 32	106.60 2 87	145.26 4 119	m 箇所 箇所	
管口仕上工	管口仕上工	2	2	4	箇所	
換気工	換気設備工	8.02	22.87	30.89	日	誘導員等算定 表参照
止水工	止水工					
	本管γ字管注入工(φ 1100)	0.00 0	41.52 12	41.52 12	m 箇所	
	本管管口γ字管注入工(φ 1100)	3.46 3.46	3.46 3.46	6.92 6.92	m 箇所	
止水工	取付管管口注入工(φ 150)	0.00 1	0.00 1	0.00 2	m 箇所	
	取付管管口注入工(φ 200)	0.00 0	0.00 0	0.00 0	m 箇所	
	止水工延長合計	3.46 0	44.98 0	48.44 0	m 箇所	
取付管工	取付管口仕上工(φ 200以下) 取付管口仕上工(φ 200超)	2 0	3 2	5 2	箇所 箇所	
既設管補強工	既設管補強工 補強鉄筋設置工	38.66	106.60	145.26	m	交通誘導員の 合計について は、総括表参 照
交通管理工	交通誘導警備員B(交代要員有3人配置) 交通誘導警備員A(交代要員有1人配置)				人日 人日	
準備費						
前処理工						
既設管洗浄工	既設管洗浄工	38.66	106.60	145.26	m	
既設管洗浄工	既設管洗浄工	38.66	106.60	145.26	m	
換気工	換気設備工	0.27	0.74	1.01	日	誘導員等算定 表参照

複合管数量集計表(補助) (2)

2/3

名 称	規 格	5-2路線	6路線	7路線	設計数量	単 位	備 考
設計条件	既設管径 更生管径 路線延長 更生管延長 施工日数	φ1200 φ1135 69.70 68.20 15.5	φ1200 φ1135 93.00 91.50 19.0	φ1200 φ1135 61.00 59.20 12.5	223.70 218.90 47.00	mm mm m m 日	
昼夜区分 誘導員配置人数		夜間施工 4人配置	夜間施工 4人配置	夜間施工 4人配置			
直接工事費							
管渠更生工(複合管)							
材料費	更生材料(標準ストリップ) 更生材料(SFジョイナー)	S形 S形	852.00 852.00	1140.92 1140.92	740.40 740.40	2733.32 2733.32	m m
製管工	スベーター取付工 取付工日当り材料量	○形(頂部) ○形(側部) ○形(底部)	0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0	m m m m m m
端部製管工 製管工(直線区間) 端部築保工		1.50 1.50 66.70	1.50 1.50 90.00	1.50 1.50 57.70	4.5 4.5 214.4	6.0 6.0	m m 箇所
充填材注入工 充填材注入工 充填材ストリップ工 管内注入口工	充填材2号 1箇所当り急結モルタル量0.005m3	68.20 2 56	91.50 2 75	59.20 2 48	218.90 6.00 179.00	m 箇所 箇所	
管口仕上工 管口仕上工		2	2	2	6	箇所	
換気工 換気設備工		14.75	17.73	11.84	44.32	日	誘導員等算定 表参照
止水工	止水工	本管γ字管注入工(φ1200) 3.77 m/箇所 18.85 5 7.54	7.54 2 7.54	3.77 1 3.77	30.16 8 18.85	m 箇所 m 箇所	
止水工	止水工	本管管口γ字管注入工(φ1200) 3.77 m/箇所 7.54 2 0.00	0.00 2 0.00	0.00 1 0.00	0.00 5 0.00	m 箇所 m 箇所	
取付管工	取付管口仕上工(φ200以下) 取付管口仕上工(φ200) 取付管管口注入工(φ200) 取付管管口注入工(φ300)	0.63 m/箇所 0 0.00 0.94 m/箇所 0 0.00 26.39	0 0 0.00 0 0.00 15.08	0 0 0.00 0 0.94 8.48	0.00 0 0.94 1 0.94 49.95	m 箇所 m 箇所 m 箇所 箇所	
既設管補強工 補強鉄筋設置工		68.20	91.50	59.20	218.90	m	
交通管理工	交通誘導警備員B(交代要員有3人配置) 交通誘導警備員A(交代要員有1人配置)					人日 人日	交通誘導員の 合計について は、総括表参 照
準備費							
前処理工							
既設管洗浄工	既設管洗浄工	68.20	91.50	59.20	218.90	m	
既設管洗浄工	既設管洗浄工	68.20	91.50	59.20	218.90	m	
換気工	換気設備工	0.48	0.64	0.42	1.54	日	誘導員等算定 表参照

複合管数量総括表(単独)

赤字：設計採用数量

名 称	規 格	4路線	5-2路線	6路線	設計採用数量	単 位	備 考
設計条件	既設断面 更生断面 路線延長 更生管延長	φ 1100 φ 1035 108.10 106.60	φ 1200 φ 1135 69.70 68.20	φ 1200 φ 1135 93.00 91.50		m m m m	
昼夜区分		夜間施工 4人配置	夜間施工 4人配置	夜間施工 4人配置			
誘導員配置人数		直接工事費					
管路	取付管更生 取付管更生工					箇所	
	止水工 取付管内止水工	パッカー工法				m	
	換気工 換気設備工					日	
	交通管理工					人日	算定表より
						4.0 1.5	人日 人日
		準備費					
準備費	障害物等除去工 モルタル除去 取付管突出 木根処理工					箇所 箇所	
換気工	換気設備工	2	4	2	0.8 1.0	日 日	算定表より

3-2路線

ダンビー工法数量計算書				
名 称	算 定 式	単位	数 量	
管さよ更生工事	(104) 123340110路線			
既設管口径		mm	1100	
路線延長		m	40.160	
更生延長		m	38.660	
① 更生延長	(直線・曲線部) L = 38.660 -	m	38.660	
② 更生延長	(急曲線部) L = +	m		
巻立延長	曲線 屈曲			
① 巻立延長	(直線・曲線部) L = 38.660 + 0.510 × 1 = 39.170 m	m	39.170	
② 巻立延長	(急曲線部) L = +	m		
	曲線 屈曲			
(1) ストリップ管		m	38.660	
(2) 製管工		m	38.660	
(3) 充てん材注入工		m	38.660	
(4) 管口仕上げ工		箇所	2.00	
(5) 換気工		式	1.00	

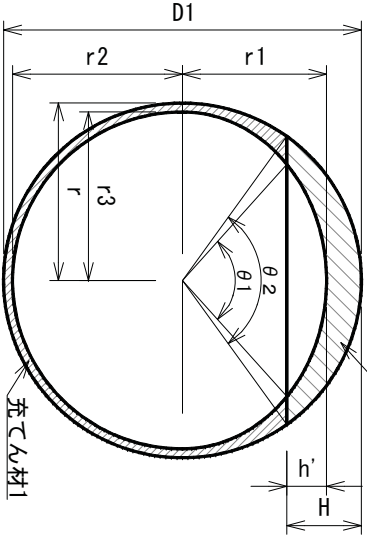
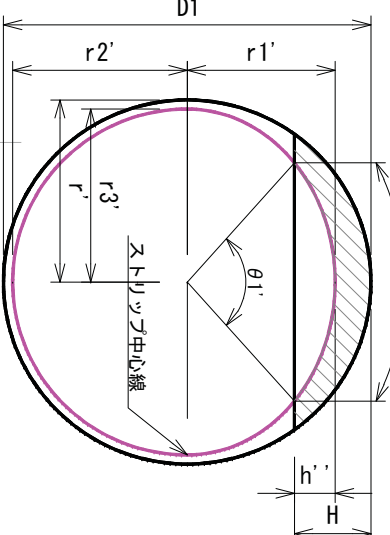
ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
ストリツプ管			
(1) ストリツプ	下図、更生断面図より算定		
<div></div>			
既設管内径	D = 1100 mm = 1.100 m		
ストリツプ種類	S形 ストリツプ容積 0.00111 m3/m		
ストリツプ厚	t = 12.5 mm = 0.0125 m		
	a : 523.75 mm = 0.5238 m		
	b1 : 523.75 mm = 0.5238 m		
	b2 : 523.75 mm = 0.5238 m		
ストリツプ幅	255 mm ストリツプ+ジョイナー幅	290 mm	
ストリツプ円周長の算定 (上半断面を楕円、下半断面を円として算定)			
上半楕円周長	$= \pi \times \left(\frac{a^2 + b1^2}{2} \right)^{0.5} = 1.6454 \text{ m}$		
下半円周長	$= \pi \times \left(\frac{a^2 + b2^2}{2} \right)^{0.5} = 1.6454 \text{ m}$		
周長	$= 1.6454 + 1.6454 = 3.291 \text{ m}$		
製管1m当りのストリツプ使用量	$L_1 = \left(\frac{1000}{290} \right) \times 3.291$		
	$= 11.3 \text{ m}$		
1ス(び)当りのストリツプ使用量	$= L_1 \times (1\text{ス(び)巻立延長})$		
(直線・曲線部) =	11.3 × 39.170 = 442.62	m	442.62
(急曲線部) =	11.3 ×	m	
(2) ジョイナー			
S形-SFジョイナー	$= \text{ストリツプ使用量}$		
1ス(び)当りのジョイナー使用量	(直線・曲線部) = 442.62 m	m	
	(急曲線部) =	m	442.62

3-2路線

ダンピー工法数量計算書						
名 称	算 定 式				単位	数 量
製管工						
(2) 端部製管工 (人力製管)	L 1日当り製管延長	= 18	1.50 m × m/日	1 ス/ベ : 1.50 m	m	1.50
(3) 製管工 直線区間 (機械製管)	L	= 38.660	- 1.5	屈曲部		
(機械製管)		= 37.160	m		m	37.16
(5) 端部緊張工	N	= 2	箇所		箇所	2.00
(6) 既設管洗浄工	L 1日当り既設管洗浄工延長	= 更生延長	= 38.66	= 200	m	38.66
(7) 既設管調査工	L 1日当り既設管調査工延長	= 更生延長	= 38.66	= 500	m	38.66
充てん材注入工						
(1) 充てん材注入工	L	= 更生延長	= 38.66	m	m	38.66
①充てん材の算定	既設管内空面積			[積算資料 I -13参照]		
	= A1	= $\frac{\pi D^2}{4}$	= 0.950	m ²		
	上半楕円内空面積					
	= A2	= $\frac{\{n(a-t/2)(b1-t/2)\}}{2}$	= 0.4207	m ²		
	下半円内空面積					
	= A3	= $\frac{\{n(a-t/2)(b2-t/2)\}}{2}$	= 0.4207	m ²		
	1 m当り充てん材注入量 (q)		内空面積 計	0.841	m ²	
	= A1	- (A2 + A3)	- ストリップ管容量			
	- 鋼材容量					
	= 0.95	- (0.4207 + 0.4207)				
	- 11.3	× 0.00111 *λH/γ°	管容量(m3/m)			
	- 17.87	× 0.0015 *λh°-サ	単位容量(m3/m)			
	= 0.094	÷ 7850	*鉄筋単位体積重量(kg/m3)			
	充てん材注入量					
	= 38.66	× 0.094	= 3.63	m ³	m ³	3.63

ダンビー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
②充てん材2の算定 管頂部は、主材のみの充てん材（充てん材2）を注入する。			
[積算資料 I -13参照]			
	既設管内径	D1	1100 mm
	既設管半径	r	550 mm
	楕円半径	r1	517.50 mm
	楕円半径	r2	517.50 mm
	楕円半径	r3	517.50 mm
	頂部内角 更生管	theta 1	72.4 °
	頂部内角 充てん材	theta 2	81.2 °
	充てん材 2 高さ	H	132.50 mm
	充てん切替位置高	h'	100.00 mm
	既設管内径	D1	1100 mm
	既設管半径	r	550 mm
	楕円半径	r1'	523.75 mm
	楕円半径	r2'	523.75 mm
	楕円半径	r3'	523.75 mm
	頂部内角 更生管	theta 1'	74.3 °
	充てん材 2 高さ	H	132.50 mm
	充てん切替位置高	h''	106.25 mm
	既設管内径	D1	1100 mm
	既設管半径	r	550 mm
	楕円半径	r1'	523.75 mm
充てん材 2 (CAD計測) = 0.023 m3/m			
控除ストリッパ長 (CAD計測) = 0.679 m			
1 m当り充てん材注入量 (q2)			
= 充てん材 2 (CAD計測) - ストリッパ管容量			
= 0.023 - 0.679 ÷ 0.290 × 0.001110			
= 0.02 m3/m			
③充てん材1の算定 管頂部以外の充てん材注入は主材と硬化材の2シヨット方式（充てん材1）とする。			
充てん材 1			
= 0.094 - 0.02 = 0.074 m3/m			

ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
④ 1日当り注入量の算定	1日当り充てん材注入量 (標準) 今回日作業時間 8 時間/日 より 4.0 × 8/8 = 4.0 m ³ /日	m ³ /日	
(2) 充てん材 ストッパー工	1日当り充てん材注入延長 = 1日当り充てん材注入量 ÷ 1m当り充てん材注入量 = 4.0 ÷ 0.094 = 42.6 m/日		
	1日当り充てん材量 = 4.0 × 1.05 (割増率) = 4.2 m ³ /日		
	2号 充てん材1 = 4.2 × $\frac{0.074}{0.094}$ = 3.31 m ³ /日	m ³ /日	3.31
	2号 充てん材2 = 4.2 × $\frac{0.020}{0.094}$ = 0.89 m ³ /日	m ³ /日	0.89
	管上半面の既設管とストリッパ管のクリアランスを モルタルで閉塞する。		
(3) 管内注入口工	充てん材ストッパー箇所数 N = 2 箇所	箇所	2.00
	1箇所当りモルタル量の算定 t = 50 mm = 0.05 m = 1箇所当り内空面積 × モルタル厚 = 0.094 × 0.05 = 0.005 m ³	m ³ /箇所	0.005
	N = 32 箇所	箇所	32.00
	N = 38.66 ÷ 3.0 × 2 = 26 N = 38.66 ÷ 7.0 = 6		
	管内注入口は以下の延長に1箇所設ける。 ・ 左右2箇所に3m以内毎、および管頂部1箇所に7m以内毎 「積算資料 I -40参照」	計	32

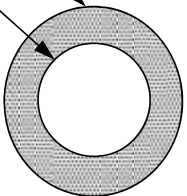
ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
管口仕上げ工			
(1) 管口仕上げ工	人孔側壁と更生管の管口をエポキシコーキング材で仕上げる。 $N = 2 \quad \text{箇所}$ ① 下半面摺り付け ・ 1箇所当りエポキシコーキング量 (Q) の算定 <p>・ 1箇所当りエポキシコーキング量 (Q) ℓ</p> $\begin{aligned} 1 \text{ m当り充てん材注入量 (q)} &= 0.094 \text{ m3/m} \\ \text{既設管内空面積 (A1)} &= 0.950 \text{ m2} \\ \text{更生管下半分内空面積 (A3)} &= 0.4207 \text{ m2} \end{aligned}$ <p>「積算資料 I -41 参照」</p> $\begin{aligned} Q &= \{ 1 \text{ m当り充てん材注入量} \times 0.01 \\ &\quad + (\text{既設管下半分内空面積} - \text{更生管下半分内空面積}) \times 0.05/2 \} \times 1000 \\ &= \{ q \times 0.01 \\ &\quad + (\frac{A1}{2} - A3) \times 0.05/2 \} \times 1000 \\ &= \{ 0.094 \times 0.01 \\ &\quad + (\frac{0.950}{2} - 0.4207) \times 0.05/2 \} \times 1000 \\ &= 2.3 \text{ ℓ/箇所} \end{aligned}$ <p>よって下半摺り付け部1ヶ所当りエポキシコーキング量は</p> $2.3 \text{ ℓ/箇所} \times 2.00 \text{ 箇所} = 4.6 \text{ ℓ}$	箇所	2
2.3 ℓ/箇所 × 2.00 箇所 = 4.6 ℓ			

ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
換気工			
(1) 換気工	1 式	式	1
①軸流ファン	50/60 m ³ /min N = 2	台	2
②送風管	φ300mm N = 2	本	

管口仕上げ工 (取付け管工)

管口仕上げ工 (取付け管工) は、200mm以下の日進量を基本とし算出する。 積算資料C-10-1より 日進量 : 5 箇所/日		箇所/日	5.00
※施工は取付管内部の仕上げとなるが、数量特定が困難である為、右図のように平面積の算出として換算し、日進量を算出する。 取付管 + 100mm 取付管 200mm			

補強鉄筋日進量

(1) 補強鉄筋工

主鉄筋

1周当たり長さ

分割数

3

①主筋周長

②重ね継手増分

③一本長さ

小計③×分割数(m)

3.425

0.350

1.492

4.476

更生延長 1 m当り

鉄筋径

D10

本数/m

計(m)

kg/m

1m当り重量(kg)

4

17.904

0.560

10.030

配力筋

更生延長 1 m当り

①1本当りm

小計(①+②)/①(m)

5.500

1.000

1周当たり

鉄筋径

D10

本数/m

総延長(m)

kg/m

1m当り重量(kg)

14

14.000

0.560

7.840

1m当り重量(kg)

17.870 kg

m/日

10.0

4路線

ダンピー工法数量計算書					
名 称	算 定 式			単位	数 量
管きよ更生工事	(106) 123340130路線				
既設管口径 路線延長 更生延長				mm m m	1100 108.100 106.600
① 更生延長 L =	(直線・曲線部) 106.600	-		m	106.600
② 更生延長 L =	(急曲線部) 曲線	+	屈曲	m	
巻立延長					
① 巻立延長 L =	(直線・曲線部) 106.600	+ 0.510	× スリッ数 1	= m	107.110
② 巻立延長 L =	(急曲線部) 曲線	+	屈曲部 屈曲	m	
(1) スリッ管 (2) 製管工 (3) 充てん材注入工 (4) 管口仕上げ工 (5) 換気工				m m m m 式	106.600 106.600 106.600 2.00 1.00

ダンビー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
ストリツプ管			
(1) ストリツプ	<p>下図、更生断面図より算定</p> <p>既設管内径 : 1100 mm = 1.100 m</p> <p>ストリツプ種類 : S形</p> <p>ストリツプ厚 : 12.5 mm = 0.0125 m</p> <p>ストリツプ幅 : 255 mm</p> <p>ストリツプ+ジョイナー幅 : 290 mm</p> <p>ストリツプ円周長の算定 (上部半断面を楕円、下部半断面を円として算定)</p> <p>上半楕円周長</p> $= \pi \times \left(\frac{a^2 + b_1^2}{2} \right)^{0.5} = 1.6454 \text{ m}$ <p>下半円周長</p> $= \pi \times \left(\frac{a^2 + b_2^2}{2} \right)^{0.5} = 1.6454 \text{ m}$ <p>周長</p> $= 1.6454 + 1.6454 = 3.291 \text{ m}$ <p>製管 1m 当りのストリツプ使用量</p> $L_1 = \frac{1000}{290} \times \text{##} \text{ ##}$ <p>1ス(び)当りのストリツプ使用量</p> $= L_1 \times (1\text{ス(び)巻立延長}) = 1210.34 \text{ m}$ <p>(直線・曲線部) = 11.3 × 107.110 = 1210.34 m</p> <p>(急曲線部) = 11.3 × = m</p> <p>(2) ジョイナー-S形-SFジョイナー</p> <p>1ス(び)当りのジョイナー使用量</p> $= \text{ストリツプ使用量} = 1210.34 \text{ m}$ <p>(直線・曲線部) = 1210.34 m</p> <p>(急曲線部) = m</p>		

4路線

ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式					単位	数 量
製管工							
(2) 端部製管工 (人力製管) 1日当り製管延長	L	=	1.50	m × m/日	1 人/人	=	1.50 m
(3) 製管工 直線区間 (機械製管) (機械製管)	L	=	106.600	-	1.5		
		=	105.100	m	屈曲部		
	1日当り製管延長				50 m/日	m	105.10
	(5) 端部緊張工	N	=	2	箇所	箇所	2.00
(6) 既設管洗浄工	L	=	更生延長		=	106.60 m	106.60
	1日当り既設管洗浄工延長				200 m	m	
(7) 既設管調査工	L	=	更生延長		=	106.60 m	106.60
	1日当り既設管調査工延長				500 m	m	
充てん材注入工							
(1) 充てん材注入工	L	=	更生延長		=	106.60 m	106.60
①充てん材の 既設管内空面積 算定							
上半楕円内空面積	A1	=	$\frac{\pi D^2}{4}$	=	0.950	m ²	
	A2	=	$\frac{\{ \pi (a-t/2)(b1-t/2) \}}{2}$	=	0.4207	m ²	
下半円内空面積	A3	=	$\frac{\{ \pi (a-t/2)(b2-t/2) \}}{2}$	=	0.4207	m ²	
				内空面積 計		0.841 m ²	
1 m当り充てん材注入量 (q)							
鋼材容量	A1	-	(A2 + A3)	-	ストリップ管容量		
	-						
	0.95	- (0.4207	+	0.4207)		
	-	11.3	×	0.00111	*ストリップ管容量(m3/m)		
	-		×	0.0015	*ス-サ-単位容量(m3/m)		
鉄筋単位体積重量(kg/m3)	-	17.87	÷	7850			
	=	0.094	m ³ /m				
充てん材注入量							
	=	106.60	×	0.094	=	10.02 m ³	10.02

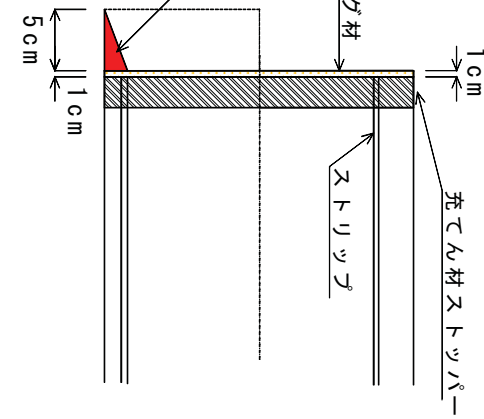
ダンビー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
②充てん材 2 の算定	管頂部は、主材のみの充てん材（充てん材 2）を注入する。		
	 既設管内径 D1 1100 mm 既設管半径 r 550 mm 楕円半径 r1 517.50 mm 楕円半径 r2 517.50 mm 楕円半径 r3 517.50 mm 頂部内角 更生管 θ1 72.4 ° 頂部内角 充てん材 θ2 81.2 ° 充てん材 2 高さ H 132.50 mm 充てん切替位置高 h' 100.00 mm		
③充てん材 1 の算定	 既設管内径 D1 1100 mm 既設管半径 r 550 mm 楕円半径 r1' 523.75 mm 楕円半径 r2' 523.75 mm 楕円半径 r3' 523.75 mm 頂部内角 更生管 θ1' 74.3 ° 充てん材 2 高さ H 132.50 mm 充てん切替位置高 h'' 106.25 mm		
④充てん材 2 の算定	充てん材 2 (CAD計測) = 0.023 m³/m 控除ストリッパ長 (CAD計測) = 0.679 m 1m当り充てん材注入量 (q2) = 充てん材 2 (CAD計測) - ストリッパ管容量 = 0.023 - 0.679 ÷ 0.001110 × = 0.02 m³/m		
⑤充てん材 1 の算定	管頂部以外の充てん材注入は主材と硬化材の 2ショット方式 (充てん材 1) とする。 充てん材 1 = 0.094 - 0.02 = 0.074 m³/m		

ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式			単位	数 量
④ 1日当り注 入量の算定	1日当り充てん材注入量 (標準) 今日作業時間 4.0	8	時間/日 より 8/8 =	4.0 m ³ /日	
(2) 充てん材 ストッパ－工	1日当り充てん材注入延長 = =	4.0	÷	0.094	= 42.6 m/日
	1日当り充てん材量 =	4.0	×	1.05 (割増率)	= 4.2 m ³ /日
	2号 充てん材 1 =	4.2	×	$\frac{0.074}{0.094}$	= 3.31 m ³ /日 [積算資料 I -37参照]
	2号 充てん材 2 =	4.2	×	$\frac{0.020}{0.094}$	= 0.89 m ³ /日 [積算資料 I -37参照]
	(2) 充てん材 管上半面の既設管とストリツツ管のクリアランスを ストッパ－工 モルタルで閉塞する。				
(3) 管内注入口工	充てん材ストッパ－箇所数 N =	2	箇所		2.00 箇所
	1箇所当りモルタル量の算定 t =	50	mm	=	0.05 m
	=	1箇所当り内空面積 = 0.094	×	0.05	= 0.005 m ³ m ³ /箇所
	(3) 管内注入口工 N	=	87 箇所		87.00 箇所
	N = 106.60 N = 106.60	÷	3.0 7.0	×	2 = 72 = 15
管内注入口は以下の延長に 1 箇所設ける。 ・ 左右2箇所に3m以内毎、および管頂部1箇所に7m以内毎 [積算資料 I -40参照]					計 87

ダンビー工法数量計算書

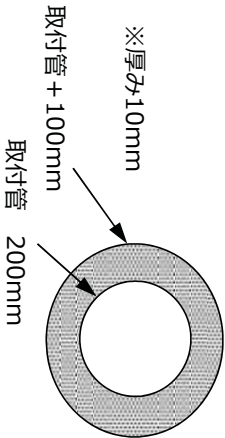
名 称	算 定 式	単位	数 量
管口上げ工			
(1) 管口上げ工	人孔側壁と更生管の管口をエポキシコーキング材で仕上げる。		
①下半面摺り付け	$N = 2 \text{ 箇所}$ <p>・ 1箇所当りエポキシコーキング量 (Q) の算定</p>  <p>・ 1箇所当りエポキシコーキング量 (Q) ℓ</p> <p>1 m当り充てん材注入量 (q) = 0.094 m³/m</p> <p>既設管内空面積 (A1) = 0.950 m²</p> <p>更生管下半分内空面積 (A3) = 0.4207 m²</p> <p>〔積算資料 I -41 参照〕</p> $Q = \{ 1 \text{ m当り充てん材注入量} \times 0.01$ $+ (\text{既設管下半分内空面積} - \text{更生管下半分内空面積}) \times 0.05/2 \} \times 1000$ $= \{ q \times 0.01$ $+ \left(\frac{A1}{2} - A3 \right) \times 0.05/2 \} \times 1000$ $= \{ 0.094 \times 0.01$ $+ \left(\frac{0.950}{2} - 0.4207 \right) \times 0.05/2 \} \times 1000$ $= 2.3 \text{ ℓ/箇所}$ <p>よって下半摺り付け部Iのコーキング量は</p> $2.3 \text{ ℓ/箇所} \times 2.00 \text{ 箇所} = 4.6 \text{ ℓ}$	箇所	2

4路線

ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
換気工			
(1) 換気工	1 式	式	1
①軸流ファン	50/60 m ³ /min	N = 2 台	2
②送風管	φ300mm	N = 2 本	

管口仕上げ工 (取付け管工)

管口仕上げ工 (取付け管工) は、200mm以下の日進量を基本とし算出する。 積算資料C-10-1より 日進量 : 5 箇所/日 箇所/日 5.00 ※施工は取付管内部の仕上げとなるが、数量特定が困難である為、右図のように平面積の算出として換算し、日進量を算出する。 矩形型取付管は、円形換算内径とする。  取付管 φ300 の1箇所当りJ-ヤグ量 $V = \pi/4 \times (0.400^2 - 0.300^2) \times 1000 = 0.55 \text{ } \ell/\text{箇所}$ ※ 日進量 5 × 0.393 ÷ 0.55 箇所/日 3.6			
---	--	--	--

補強鉄筋日進量

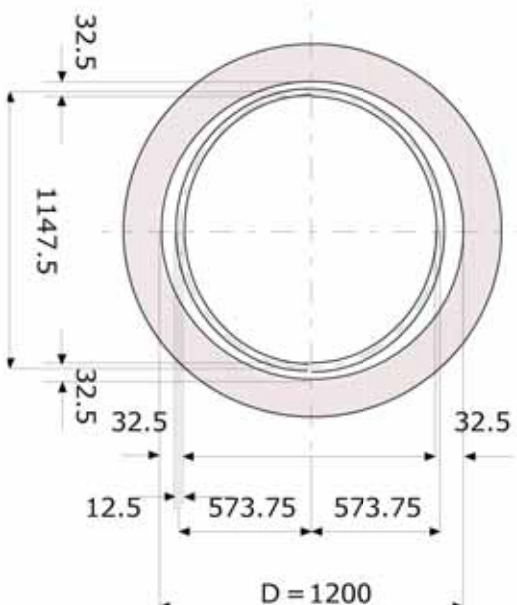
(1) 補強鉄筋工

主鉄筋		重ね継手長 35 D	m/日	10.0
1 周当たり長さ		分割数	3	
①主筋周長	②重ね継手増分	③一本長さ	小計③×分割数(m)	
3.425	0.350	1.492	4.476	
更生延長 1 m 当り		鉄筋径	D 10	
本数/m	計(m)	kg/m	1m 当り重量(kg)	
4	17.904	0.560	10.030	
・配力筋				
更生延長 1 m 当り				
① 1本当り m		小計(①+②)/①(m)		
5.500		1.000		
1 周当たり		鉄筋径	D 10	
本数/m	総延長(m)	kg/m	1m 当り重量(kg)	
14	14.000	0.560	7.840	
		1m 当り重量(kg)	17.870 kg	

ダンピー工法数量計算書

名 称		算 定 式	単位	数 量
管きよ更生工事		(103) 123310060路線		
既設管口径			mm	1200
路線延長			m	69.700
更生延長			m	68.200
① 更生延長		(直線・曲線部) L = 68.200 -	m	68.200
② 更生延長		(急曲線部) L = 曲線 + 屈曲	m	
巻立延長				
① 巻立延長		(直線・曲線部) L = 68.200 + 0.510 × 1 = 68.710 m	m	68.710
② 巻立延長		(急曲線部) L = 曲線 + 屈曲	m	
(1) ストリップ管			m	68.200
(2) 製管工			m	68.200
(3) 充てん材注入工			m	68.200
(4) 管口仕上げ工			箇所	2.00
(5) 換気工			式	1.00

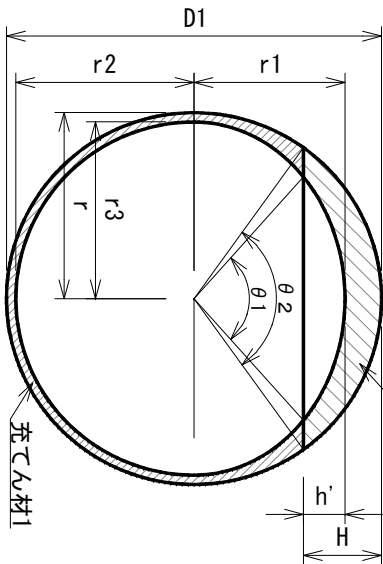
ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
ストリツプ管			
(1) ストリツプ	下図、更生断面図より算定		
<div></div>			
既設管内径	D = 1200 mm = 1.200 m		
ストリツプ種類	S形 ストリツプ容積 0.00111 m ³ /m		
ストリツプ厚	t = 12.5 mm = 0.0125 m		
	a : 573.75 mm = 0.5738 m		
	b1 : 573.75 mm = 0.5738 m		
	b2 : 573.75 mm = 0.5738 m		
ストリツプ幅	255 mm ストリツプ+ジョイナー幅 290 mm		
ストリツプ円周長の算定 (上半断面を楕円、下半断面を円として算定)			
上半楕円周長	$= n \times \left(\frac{a^2 + b1^2}{2} \right)^{0.5} = 1.8025 \text{ m}$		
下半円周長	$= n \times \left(\frac{a^2 + b2^2}{2} \right)^{0.5} = 1.8025 \text{ m}$		
周長	$= 1.8025 + 1.8025 = 3.605 \text{ m}$		
製管1m当りのストリツプ使用量	$L_1 = \left(\frac{1000}{3.605} \right) \times 3.605$		
1スリツプ当りのストリツプ使用量	$= 12.4 \text{ m}$		
S形-SFジョイナー			
1スリツプ当りのジョイナー使用量	$= \text{ストリツプ使用量} \times \left(\frac{1 \text{スリツプ巻立延長}}{\text{直線・曲線部}} \right) = 852.00 \text{ m}$		
	$= \text{ストリツプ使用量} \times \left(\frac{12.4}{68.710} \right) = 852.00 \text{ m}$		
	$= \text{ストリツプ使用量} \times \left(\frac{12.4}{68.710} \right) = 852.00 \text{ m}$		

ダンピー工法数量計算書

名 称							単位	数 量
算 定 式								
製管工								
(2) 端部製管工 (人力製管)	L 1日当り製管延長	= 18	1.50 m × m/日	1 スパン :	1.50 m		m	1.50
(3) 製管工 直線区間 (機械製管)	L	=	68.200	-	1.5			
		=	66.700	m	屈曲部		m	66.70
(機械製管)	1日当り製管延長						m/日	
(5) 端部緊張工	N	=	2	箇所			箇所	2.00
(6) 既設管洗浄工	L 1日当り既設管洗浄工延長	= 1日当り既設管洗浄工延長	更生延長 200		=	68.20 m	m	68.20
(7) 既設管調査工	L 1日当り既設管調査工延長	= 1日当り既設管調査工延長	更生延長 500		=	68.20 m	m	68.20
充てん材注入工								
(1) 充てん材注入工 ①充てん材の算定	L 既設管内空面積	= A 1	更生延長 $\frac{\pi D^2}{4}$	=	68.20 m		m	68.20
					「積算資料 I -13参照」			
	A 1	=	$\frac{\pi D^2}{4}$	=	1.131		m ²	
	上半楕円内空面積							
	A 2	=	$\frac{\{ \pi (a-t/2)(b1-t/2) \}}{2}$	=	0.5059		m ²	
	下半円内空面積							
	A 3	=	$\frac{\{ \pi (a-t/2)(b2-t/2) \}}{2}$	=	0.5059		m ²	
	内空面積 計							1.012 m ²
	1 m当り充てん材注入量 (q)							
	A 1	-	(A 2 + A 3)	-	ストリップ管容量			
	鋼材容量							
	1.131	- (0.5059	+	0.5059)		
	-	12.4	×	0.00111	*スリッパ管容量(m3/m)			
	-		×	0.0015	*スリッパ-サ-単位容量(m3/m)			
	-	19.69	÷	7850	*鉄筋単位体積重量(kg/m3)			
	=	0.103	m ³ /m					
	充てん材注入量							
	=	68.20	×	0.103	=	7.02	m ³	7.02

ダンピー工法数量計算書

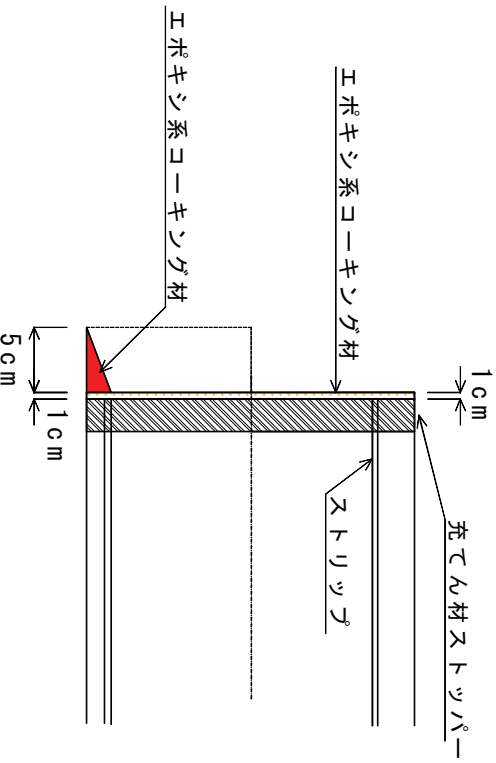
名 称	算 定 式	単位	数 量																																																																				
② 充てん材 2 の算定	管頂部は、主材のみの充てん材 (充てん材 2) を注入する。																																																																						
	<div><div><div><p>充てん材 2</p><p>既設管内径 D1</p><p>既設管半径 r</p><p>楕円半径 r1</p><p>楕円半径 r2</p><p>楕円半径 r3</p><p>頂部内角 更生管 theta 1</p><p>頂部内角 充てん材 theta 2</p><p>充てん材 2 高さ H</p><p>充てん切替位置高 h'</p></div><table><tr><td>既設管内径</td><td>D1</td><td>1200</td><td>mm</td></tr><tr><td>既設管半径</td><td>r</td><td>600</td><td>mm</td></tr><tr><td>楕円半径</td><td>r1</td><td>567.50</td><td>mm</td></tr><tr><td>楕円半径</td><td>r2</td><td>567.50</td><td>mm</td></tr><tr><td>楕円半径</td><td>r3</td><td>567.50</td><td>mm</td></tr><tr><td>頂部内角 更生管</td><td>theta 1</td><td>69.1</td><td>°</td></tr><tr><td>頂部内角 充てん材</td><td>theta 2</td><td>77.6</td><td>°</td></tr><tr><td>充てん材 2 高さ</td><td>H</td><td>132.50</td><td>mm</td></tr><tr><td>充てん切替位置高</td><td>h'</td><td>100.00</td><td>mm</td></tr></table></div><div><p>既設管内径 D1</p><p>既設管半径 r</p><p>楕円半径 r1</p><p>楕円半径 r2</p><p>楕円半径 r3</p><p>頂部内角 更生管 theta 1</p><p>頂部内角 充てん材 2 高さ H</p><p>充てん切替位置高 h''</p></div><table><tr><td>既設管内径</td><td>D1</td><td>1200</td><td>mm</td></tr><tr><td>既設管半径</td><td>r</td><td>600</td><td>mm</td></tr><tr><td>楕円半径</td><td>r1'</td><td>573.75</td><td>mm</td></tr><tr><td>楕円半径</td><td>r2'</td><td>573.75</td><td>mm</td></tr><tr><td>楕円半径</td><td>r3'</td><td>573.75</td><td>mm</td></tr><tr><td>頂部内角 更生管</td><td>theta 1'</td><td>70.9</td><td>°</td></tr><tr><td>頂部内角 充てん材 2 高さ</td><td>H</td><td>132.50</td><td>mm</td></tr><tr><td>充てん切替位置高</td><td>h''</td><td>106.25</td><td>mm</td></tr></table></div>	既設管内径	D1	1200	mm	既設管半径	r	600	mm	楕円半径	r1	567.50	mm	楕円半径	r2	567.50	mm	楕円半径	r3	567.50	mm	頂部内角 更生管	theta 1	69.1	°	頂部内角 充てん材	theta 2	77.6	°	充てん材 2 高さ	H	132.50	mm	充てん切替位置高	h'	100.00	mm	既設管内径	D1	1200	mm	既設管半径	r	600	mm	楕円半径	r1'	573.75	mm	楕円半径	r2'	573.75	mm	楕円半径	r3'	573.75	mm	頂部内角 更生管	theta 1'	70.9	°	頂部内角 充てん材 2 高さ	H	132.50	mm	充てん切替位置高	h''	106.25	mm	[積算資料 I -13参照]	
既設管内径	D1	1200	mm																																																																				
既設管半径	r	600	mm																																																																				
楕円半径	r1	567.50	mm																																																																				
楕円半径	r2	567.50	mm																																																																				
楕円半径	r3	567.50	mm																																																																				
頂部内角 更生管	theta 1	69.1	°																																																																				
頂部内角 充てん材	theta 2	77.6	°																																																																				
充てん材 2 高さ	H	132.50	mm																																																																				
充てん切替位置高	h'	100.00	mm																																																																				
既設管内径	D1	1200	mm																																																																				
既設管半径	r	600	mm																																																																				
楕円半径	r1'	573.75	mm																																																																				
楕円半径	r2'	573.75	mm																																																																				
楕円半径	r3'	573.75	mm																																																																				
頂部内角 更生管	theta 1'	70.9	°																																																																				
頂部内角 充てん材 2 高さ	H	132.50	mm																																																																				
充てん切替位置高	h''	106.25	mm																																																																				
③ 充てん材 1 の算定	管頂部以外の充てん材注入は主材と硬化材の 2 ショット方式 (充てん材 1) とする。																																																																						
	充てん材 1																																																																						
	= 0.103 - 0.021 = 0.082 m ³ /m																																																																						

資料 P6- 西下第7号- 山の玉排水区山の玉幹線 2 - 2 - 7 管更生工事

ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
④ 1日当り注入量の算定	1日当り充てん材注入量 (標準) 今回日作業時間 8 時間/日 より 4.0 × 8/8 = 4.0 m ³ /日		
(1) 1日当り充てん材注入量の算定	1日当り充てん材注入延長 = 1日当り充てん材注入量 ÷ 1m当り充てん材注入量 = 4.0 ÷ 0.103 = 38.8 m/日		
	1日当り充てん材量 = 4.0 × 1.05 (割増率) = 4.2 m ³ /日		
	2号 充てん材1 = 4.2 × $\frac{0.082}{0.103}$ = 3.34 m ³ /日 [積算資料 I -37参照]	m ³ /日	3.34
	2号 充てん材2 = 4.2 × $\frac{0.021}{0.103}$ = 0.86 m ³ /日 [積算資料 I -37参照]	m ³ /日	0.86
	(2) 充てん材ストッパー工 管上半面の既設管とストリツツ管のクリアランスをモルタルで閉塞する。 充てん材ストッパー箇所数 N = 2 箇所 1箇所当りモルタル量の算定 t = 50 mm = 0.05 m = 1箇所当り内空面積 × モルタル厚 = 0.103 × 0.05 = 0.005 m ³ [積算資料 I -39参照]	箇所 m ³ /箇所	2.00 0.005
(3) 管内注入口工	N = 56 箇所 管内注入口は以下の延長に1箇所設ける。 ・ 左右2箇所に3m以内毎、および管頂部1箇所に7m以内毎 [積算資料 I -40参照]	箇所 35 箇所/日	56.00
N = 68.20 ÷ 3.0 × 2 = 46 N = 68.20 ÷ 7.0 = 10 計 56			

ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量			
管口仕上げ工						
(1) 管口仕上げ工	人孔側壁と更生管の管口をエポキシコーキング材で仕上げる。					
	$N = 2 \text{ 箇所}$	箇所	2			
① 下半面摺り付け	・ 1箇所当りエポキシコーキング量 (Q) の算定	箇所	2			
						
・ 1箇所当りエポキシコーキング量 (Q) ℓ						
1 m当り充てん材注入量 (q) = 0.103 m3/m						
既設管内空面積 (A1) = 1.131 m2						
更生管下半分内空面積 (A3) = 0.5059 m2						
[積算資料 I -41参照]						
$Q = \{ 1 \text{ m当り充てん材注入量} \times 0.01$						
+ (既設管下半分内空面積 - 更生管下半分内空面積) $\times 0.05/2 \} \times 1000$						
$= \{ q \times 0.01$						
+ $(\frac{A1}{2} - A3) \times 0.05/2 \} \times 1000$						
$= \{ 0.103 \times 0.01$						
+ $(\frac{1.131}{2} - 0.5059) \times 0.05/2 \} \times 1000$						
$= 2.5 \text{ ℓ/箇所}$						
よって下半摺付け部1ヶ所のエポキシコーキング量は						
2.5 ℓ/箇所	\times	2.00 箇所	$=$	5.0 ℓ		

ダンビー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
換気工			
(1) 換気工	1 式	式	1
①軸流ファン	50/60 m ³ /min N = 2	台	2
②送風管	φ300mm N = 2	本	

管口仕上げ工 (取付け管工)

管口仕上げ工（取付け管工）は、200mm以下の日進量を基本とし算出する。 積算資料C-10-1より	箇所/日	5.00
日進量 ： 5 箇所/日		
※施工は取付管内部の仕上げとなるが、数量特定が困難である為、右図のように平面積の算出として換算し、日進量を算出する。		
矩形型取付管は、円形換算内径とする。		
取付管 φ300 の1箇所当り「キグ」量		
$V = \pi/4 \times (0.400^2 - 0.300^2) \times 0.010$		
※ 日進量 5 × 0.393 ÷ 0.55 ℓ/箇所		
	箇所/日	3.6

補強鉄筋日進量

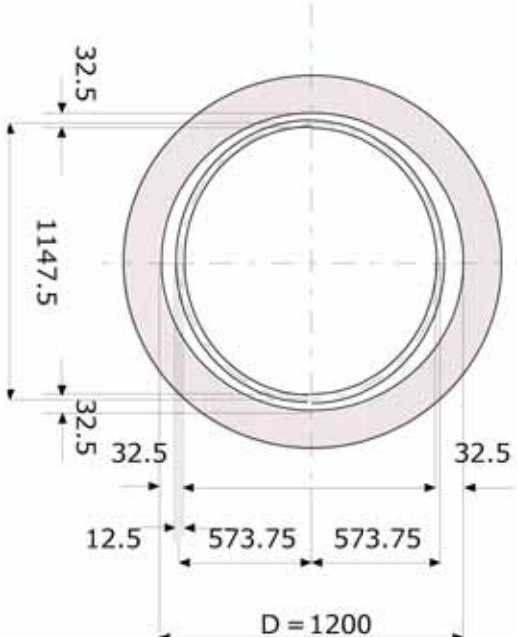
(1) 補強鉄筋工

					m/日	10.0
・主鉄筋					重ね継手長	35 D
1周当たり長さ			分割数	3		
①主筋周長	②重ね継手増分	③一本長さ	小計③×分割数(m)			
3.739	0.350	1.597	4.791			
更生延長 1 m 当り			鉄筋径	D 10		
本数/m	計(m)	kg/m	1m 当り重量(kg)			
4	19.164	0.560	10.730			
・配力筋						
更生延長 1 m 当り						
① 1本 当り m		小計(①+②)/①(m)				
5.500		1.000				
1周 当たり			鉄筋径	D 10		
本数/m	総延長(m)	kg/m	1m 当り重量(kg)			
16	16.000	0.560	8.960			
		1m 当り重量(kg)	19.690 kg			

ダンピー工法数量計算書

名 称		算 定 式	単位	数 量
管きよ更生工事		(105) 123310070路線		
既設管口径			mm	1200
路線延長			m	93.000
更生延長			m	91.500
① 更生延長		(直線・曲線部) L = 91.500 -	m	91.500
② 更生延長		(急曲線部) L = 曲線 + 屈曲	m	
巻立延長				
① 巻立延長		(直線・曲線部) L = 91.500 + 0.510 × 1 = 92.010 m	m	92.010
② 巻立延長		(急曲線部) L = 曲線 + 屈曲	m	
(1) ストリップ管			m	91.500
(2) 製管工			m	91.500
(3) 充てん材注入工			m	91.500
(4) 管口仕上げ工			箇所	2.00
(5) 換気工			式	1.00

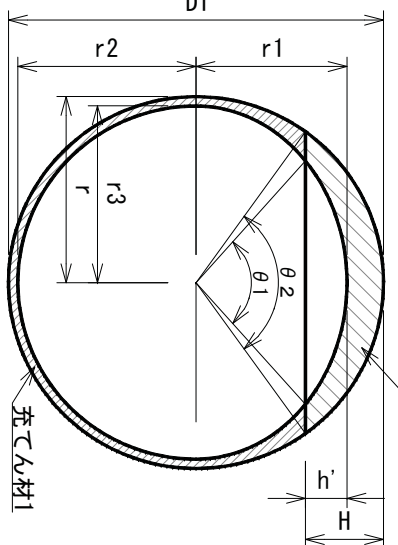
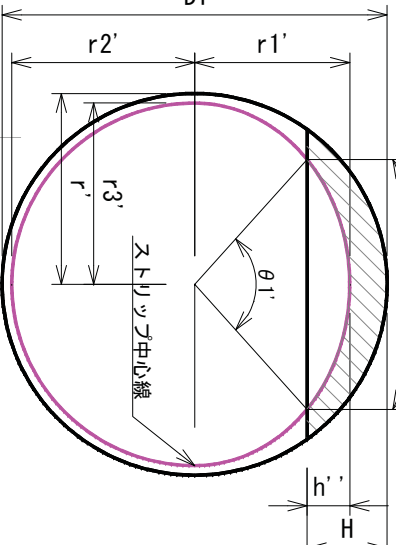
ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
ストリップ管			
(1) ストリップ	下図、更生断面図より算定		
<div></div>			
既設管内径	D = 1200 mm = 1.200 m		
ストリップ種類	S形 ストリップ容積 0.00111 m ³ /m		
ストリップ厚	t = 12.5 mm = 0.0125 m		
	a : 573.75 mm = 0.5738 m		
	b1 : 573.75 mm = 0.5738 m		
	b2 : 573.75 mm = 0.5738 m		
ストリップ幅	255 mm ストリップ+ジョイナー幅 290 mm		
ストリップ円周長の算定 (上半断面を楕円、下半断面を円として算定)			
上半楕円周長	$= n \times \left(\frac{a^2 + b1^2}{2} \right)^{0.5} = 1.8025 \text{ m}$		
下半円周長	$= n \times \left(\frac{a^2 + b2^2}{2} \right)^{0.5} = 1.8025 \text{ m}$		
周長	$= 1.8025 + 1.8025 = 3.605 \text{ m}$		
製管1m当りのストリップ使用量	$L_1 = \left(\frac{1000}{290} \right) \times 3.605$		
	$= 12.4 \text{ m}$		
1スリッダりのストリップ使用量	$= L_1 \times (1\text{スリッダり巻立延長})$		
(直線・曲線部) =	12.4 × 92.010 = 1140.92 m		
(急曲線部) =	12.4 × = m		
(2) ジョイナー			
S形-SFジョイナー			
1スリッダりのジョイナー使用量	$= \text{ストリップ使用量}$		
(直線・曲線部) =	1140.92 m		
(急曲線部) =	m		
	1140.92		

ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式			単位	数 量
製管工					
(2) 端部製管工 (人力製管)	L 1日当り製管延長	= 1.50 18	m × m/日	1 スパン = 1.50 m	m 1.50
(3) 製管工 直線区間 (機械製管)	L	= 91.500 - = 90.000	1.5 屈曲部 m		m 90.00
(機械製管)	1日当り製管延長			50 m/日	
(5) 端部緊張工	N	= 2	箇所	箇所	2.00
(6) 既設管洗浄工	L	= 更生延長 1日当り既設管洗浄工延長	= 91.50 200	m m	m 91.50
(7) 既設管調査工	L	= 更生延長 1日当り既設管調査工延長	= 91.50 500	m m	m 91.50
充てん材注入工					
(1) 充てん材注入工	L	= 更生延長	= 91.50 m	m	91.50
① 充てん材の算定	既設管内空面積		[積算資料 I -13参照]		
	= A1	= $\frac{\pi D^2}{4}$	= 1.131 m ²		
	上半楕円内空面積				
	= A2	= $\frac{\{ \pi (a-t/2)(b1-t/2) \}}{2}$	= 0.5059 m ²		
	下半円内空面積				
	= A3	= $\frac{\{ \pi (a-t/2)(b2-t/2) \}}{2}$	= 0.5059 m ²		
			内空面積 計	1.012 m ²	
	1m当り充てん材注入量 (q)				
	= A1	- (A2 + A3)	- ストリップ管容量		
	- 鋼材容量				
	= 1.131	- (0.5059 + 0.5059)			
	- 12.4	× 0.00111	*ストリップ管容量(m3/m)		
	-	× 0.0015	*スチ-ル単位容量(m3/m)		
	- 19.69	÷ 7850	*鉄筋単位体積重量(kg/m3)		
	= 0.103	m ³ /m			
	充てん材注入量				
	= 91.50	× 0.103	= 9.42 m ³	m ³	9.42

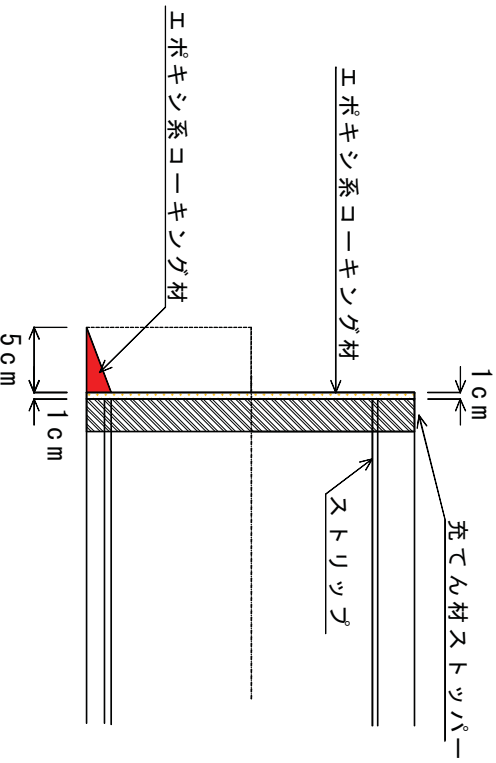
ダンビー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
②充てん材 2 の算定	管頂部は、主材のみの充てん材 (充てん材 2) を注入する。		
	 <p>「積算資料 I - 13 参照」</p> <p>既設管内径 D1 1200 mm 既設管半径 r 600 mm 楕円半径 r1 567.50 mm 楕円半径 r2 567.50 mm 楕円半径 r3 567.50 mm 頂部内角 更生管 theta 1 69.1 ° 頂部内角 充てん材 theta 2 77.6 ° 充てん材 2 高さ H 132.50 mm 充てん切替位置高 h' 100.00 mm</p>		
	 <p>既設管内径 D1 1200 mm 既設管半径 r 600 mm 楕円半径 r1' 573.75 mm 楕円半径 r2' 573.75 mm 楕円半径 r3' 573.75 mm 頂部内角 更生管 theta 1' 70.9 ° 充てん材 2 高さ H 132.50 mm 充てん切替位置高 h'' 106.25 mm</p>		
③充てん材 1 の算定	<p>充てん材 2 (CAD 計測) = 0.024 m³/m</p> <p>控除ストリッパ長 (CAD 計測) = 0.710 m</p> <p>1 m 当り充てん材注入量 (q2)</p> <p>= 充てん材 2 (CAD 計測) - ストリッパ管容量</p> <p>= 0.024 - 0.290 × 0.001110</p> <p>= 0.021 m³/m</p> <p>管頂部以外の充てん材注入は主材と硬化材の 2 ショット方式 (充てん材 1) とする。</p> <p>充てん材 1</p> <p>= 0.103 - 0.021 = 0.082 m³/m</p>		

ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
④ 1日当り注入量の算定	1日当り充てん材注入量 (標準) 今回日作業時間 8 時間/日 より 4.0 × 8/8 = 4.0 m ³ /日		
(1) 1日当り充てん材注入量の算定	1日当り充てん材注入延長 = 1日当り充てん材注入量 ÷ 1 m当り充てん材注入量 = 4.0 ÷ 0.103 = 38.8 m/日		
	1日当り充てん材量 = 4.0 × 1.05 (割増率) = 4.2 m ³ /日		
	2号 充てん材1 = 4.2 × $\frac{0.082}{0.103}$ = 3.34 m ³ /日 [積算資料 I -37参照]	m ³ /日	3.34
	2号 充てん材2 = 4.2 × $\frac{0.021}{0.103}$ = 0.86 m ³ /日 [積算資料 I -37参照]	m ³ /日	0.86
	(2) 充てん材ストッパー工 管上半面の既設管とストリツツ管のクリアランスをモルタルで閉塞する。 充てん材ストッパー箇所数 N = 2 箇所 1箇所当りモルタル量の算定 t = 50 mm = 0.05 m = 1箇所当り内空面積 × モルタル厚 = 0.103 × 0.05 = 0.005 m ³ [積算資料 I -39参照]	箇所 m ³ /箇所	2.00 0.005
(3) 管内注入口工	N = 75 箇所 管内注入口は以下の延長に1箇所設ける。 ・ 左右2箇所に3m以内毎、および管頂部1箇所に7m以内毎 [積算資料 I -40参照]	箇所 35 箇所/日	75.00
N = 91.50 ÷ 3.0 × 2 = 62 N = 91.50 ÷ 7.0 = 13 計 75			

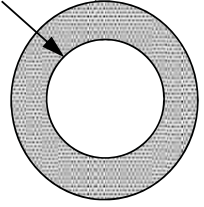
ダンピー工法数量計算書

名 称					算 定	式	単位	数 量
管口仕上げ工								
(1) 管口仕上げ工					人孔側壁と更生管の管口をエポキシコーキング材で仕上げる。			
					N	=	2	箇所
①下半面摺り付け					・ 1箇所当りエポキシコーキング量 (Q) の算定			
							箇所	2
								
					・ 1箇所当りエポキシコーキング量 (Q) ℓ			
					1 m当り充てん材注入量 (q)	=	0.103	m3/m
					既設管内空面積 (A1)	=	1.131	m2
					更生管下半分内空面積 (A3)	=	0.5059	m2
					[積算資料 I -41参照]			
					$Q = \{ 1 \text{ m当り充てん材注入量} \times 0.01$ $+ (\text{既設管下半分内空面積} - \text{更生管下半分内空面積}) \times 0.05/2 \} \times 1000$			
					$= \{ q \times 0.01$ $+ (\frac{A1}{2} - A3) \times 0.05/2 \} \times 1000$			
					$= \{ 0.103 \times 0.01$ $+ (\frac{1.131}{2} - 0.5059) \times 0.05/2 \} \times 1000$			
					$= 2.5 \text{ ℓ/箇所}$			
					よって下半摺付け部1ヶ所のエポキシコーキング量は			
					2.5	ℓ/箇所	×	2.00 箇所
								=
					5.0	ℓ		

ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
換気工			
(1) 換気工	1 式	式	1
①軸流ファン	50/60 m ³ /min N = 2 台	台	2
②送風管	φ300mm N = 2 本		

管口仕上げ工 (取付け管工)

管口仕上げ工 (取付け管工) は、200mm以下の日進量を基本とし算出する。 積算資料C-10-1より 日進量 ： 5 箇所/日 ※施工は取付管内部の仕上げとなるが、数量特定が困難である為、右図のように平面積の算出として換算し、日進量を算出する。 矩形型取付管は、円形換算内径とする。 <div></div> 取付管 φ300 の1箇所当り1-枚の量 $V = \pi/4 \times (0.400^2 - 0.300^2) \times 0.010$ $= 1000 \times 0.55 \ell / \text{箇所}$ $\times \text{日進量 } 5 \times 0.393 \div 0.55$		箇所/日	5.00	3.6
---	--	------	------	-----

補強鉄筋日進量

(1) 補強鉄筋工

・ 主鉄筋		重ね継手長	35 D
1 周当たり長さ		分割数	3
①主筋周長	②重ね継手増分	③一本長さ	小計③×分割数(m)
3.739	0.350	1.597	4.791
更生延長 1 m 当り		鉄筋径	D10
本数/m	計(m)	kg/m	1m当り重量(kg)
4	19.164	0.560	10.730

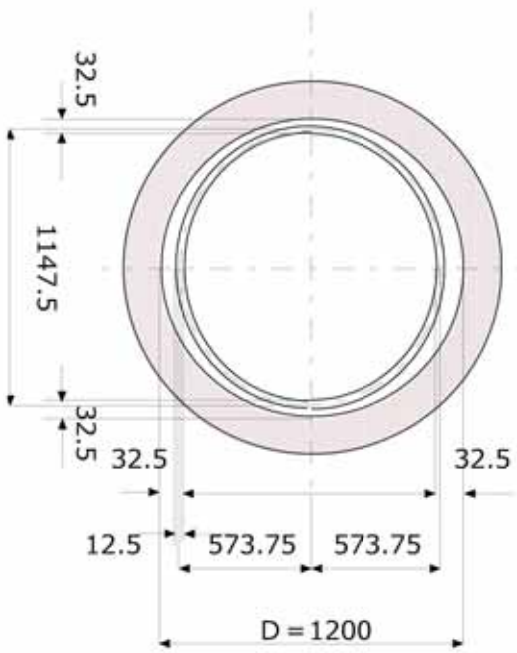
・ 配力筋

更生延長 1 m 当り			
①1本 当り m		小計(①+②)/①(m)	
5.500		1.000	
1周 当り		鉄筋径	
本数/ m	総延長(m)	kg/ m	1m 当り重量(kg)
16	16.000	0.560	8.960
1m 当り重量(kg)		19.690 kg	

ダンビー工法数量計算書

ダンビー工法数量計算書				
名 称	算 定 式	単位	数 量	
管きょ更生工事 (102) 123310080路線				
既設管口径 路線延長 更生延長		mm	1200	
		m	61.000	
		m	59.200	
①更生延長	(直線・曲線部) L = 59.200 -	m	59.200	
②更生延長	(急曲線部) L = 曲線 + 屈曲	m		
巻立延長				
①巻立延長	(直線・曲線部) L = 59.200 + 0.510 × 1 = 59.710 m	m	59.710	
②巻立延長	(急曲線部) L = 曲線 + 屈曲	m		
(1) ストリップ管		m	59.200	
(2) 製管工		m	59.200	
(3) 充てん材注入工		m	59.200	
(4) 管口仕上げ工		箇所	2.00	
(5) 換気工		式	1.00	

ダンピー工法数量計算書

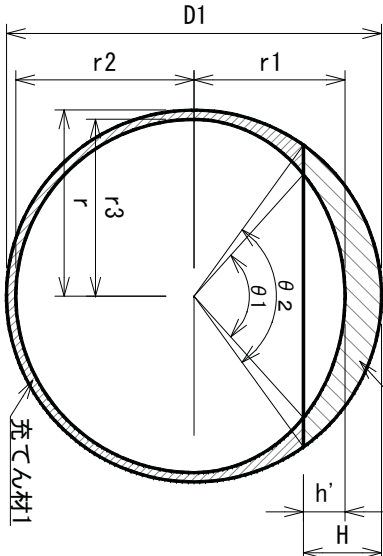
名 称	算 定 式	単位	数 量
ストリツ管			
(1) ストリツ	下図、更生断面図より算定		
<div></div>			
既設管内径	D = 1200 mm = 1.200 m		
ストリツ種類	S形 ストリツ容積 0.00111 m3/m		
ストリツ厚	t = 12.5 mm = 0.0125 m		
	a = 573.75 mm = 0.5738 m		
	b1 = 573.75 mm = 0.5738 m		
	b2 = 573.75 mm = 0.5738 m		
ストリツ幅	255 mm ストリツ+ジョイナー幅 290 mm		
ストリツ円周長の算定 (上半断面を楕円、下半断面を円として算定)			
上半楕円周長	$= n \times \left(\frac{a^2 + b1^2}{2} \right)^{0.5} = 1.8025 \text{ m}$		
下半円周長	$= n \times \left(\frac{a^2 + b2^2}{2} \right)^{0.5} = 1.8025 \text{ m}$		
周長	$= 1.8025 + 1.8025 = 3.605 \text{ m}$		
製管 1m当りのストリツ使用量	$L_1 = \left(\frac{1000}{290} \right) \times 3.605$		
	$= 12.4 \text{ m}$		
1スリ当りのストリツ使用量	$= L_1 \times (1スリ巻立延長)$		
(直線・曲線部) =	12.4 × 59.710 = 740.40 m		
(急曲線部) =	12.4 × =		
(2) ジョイナー			
S形-SFジョイナー			
1スリ当りのジョイナー使用量	= ストリツ使用量		
(直線・曲線部) =	740.40 m		
(急曲線部) =	m		
	740.40		

7路線

ダンピー工法数量計算書						
名 称	算 定 式			単位	数 量	
製管工						
(2) 端部製管工 (人力製管)	L 1日当り製管延長	= 18	1.50 m × m/日	1ス/ベ m	1.50	
(3) 製管工 直線区間 (機械製管)	L =	= 59.200 - 57.700	= 1.5 - m	屈曲部 m	57.70	
(機械製管)	1日当り製管延長			50 m/日		
(5) 端部緊張工	N	= 2	箇所	箇所	2.00	
(6) 既設管洗浄工	L 1日当り既設管洗浄工延長	= 200	更生延長 m	59.20 m	59.20	
(7) 既設管調査工	L 1日当り既設管調査工延長	= 500	更生延長 m	59.20 m	59.20	
充てん材注入工						
(1) 充てん材注入工	L	=	更生延長	= 59.20 m	59.20	
① 充てん材の算定	既設管内空面積			[積算資料 I -13参照]		
	= A 1	= $\frac{\pi D^2}{4}$	= 1.131	m ²		
	上半楕円内空面積					
	= A 2	= $\frac{\{n(a-t/2)(b1-t/2)\}}{2}$	= 0.5059	m ²		
	下半円内空面積					
	= A 3	= $\frac{\{n(a-t/2)(b2-t/2)\}}{2}$	= 0.5059	m ²		
	内空面積 計 1.012 m ²					
	1 m当り充てん材注入量 (q)					
	= A 1	-	(A2 + A3)	-	ストリツツ管容量	
	-	鋼材容量				
	= 1.131	- (0.5059 + 0.5059)		
	-	12.4	× 0.00111	*ストリツツ管容量(m3/m)		
	-		× 0.0015	*λ ⁰ -サ-単位容量(m3/m)		
	-	19.69	÷ 7850	*鉄筋単位体積重量(kg/m3)		
	=	0.103	m ³ /m			
	充てん材注入量					
	= 59.20	×	0.103	= 6.10 m ³	6.10	

R6-西下第7号-山の下排水区山の下幹線 3ー2ー7 管重牛工事

ダンピー工法数量計算書

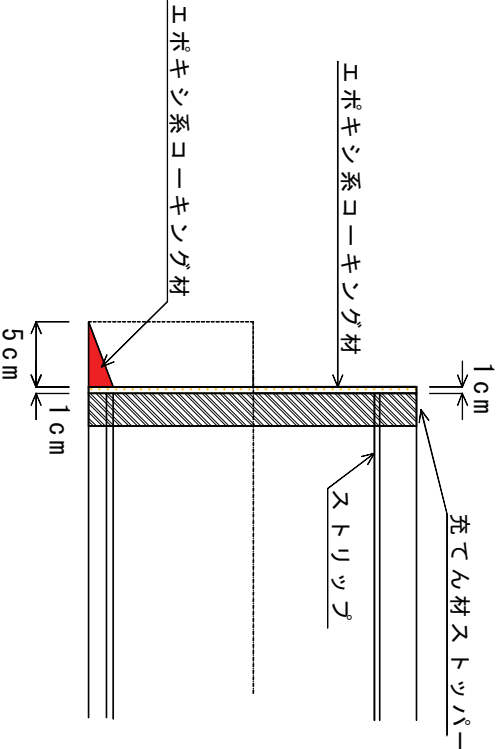
名 称	算 定 式	単位	数 量
②充てん材2の算定	管頂部は、主材のみの充てん材（充てん材2）を注入する。		
	<div><div><div></div><div><div>既設管内径</div><div>D1</div><div>1200</div><div>mm</div></div><div><div>既設管半径</div><div>r</div><div>600</div><div>mm</div></div><div><div>楕円半径</div><div>r1</div><div>567.50</div><div>mm</div></div><div><div>楕円半径</div><div>r2</div><div>567.50</div><div>mm</div></div><div><div>楕円半径</div><div>r3</div><div>567.50</div><div>mm</div></div><div><div>頂部内角 更生管</div><div>theta1</div><div>69.1</div><div>°</div></div><div><div>頂部内角 充てん材</div><div>theta2</div><div>77.6</div><div>°</div></div><div><div>充てん材2 高さ</div><div>H</div><div>132.50</div><div>mm</div></div><div><div>充てん切替位置高</div><div>h'</div><div>100.00</div><div>mm</div></div></div><div><div><div>控除ストリップ長</div></div><div><div>既設管内径</div><div>D1</div><div>1200</div><div>mm</div></div><div><div>既設管半径</div><div>r</div><div>600</div><div>mm</div></div><div><div>楕円半径</div><div>r1'</div><div>573.75</div><div>mm</div></div><div><div>楕円半径</div><div>r2'</div><div>573.75</div><div>mm</div></div><div><div>楕円半径</div><div>r3'</div><div>573.75</div><div>mm</div></div><div><div>頂部内角 更生管</div><div>theta1'</div><div>70.9</div><div>°</div></div><div><div>充てん材2 高さ</div><div>H</div><div>132.50</div><div>mm</div></div><div><div>充てん切替位置高</div><div>h''</div><div>106.25</div><div>mm</div></div></div></div>		
	充てん材2 (CAD計測) = 0.024 m3/m		
	控除ストリップ長 (CAD計測) = 0.710 m		
	1 m当り充てん材注入量 (q2)		
	= 充てん材2 (CAD計測) - ストリップ管容量		
	= 0.024 - 0.710 ÷ 0.290 × 0.001110		
	= 0.021 m3/m		
③充てん材1の算定	管頂部以外の充てん材注入は主材と硬化材の2ショット方式（充てん材1）とする。		
	充てん材1		
	= 0.103 - 0.021 = 0.082 m ³ /m		

※ R6-西下第7号-山の玉排水区-山の玉幹線 3号~7号管更生工事

ダンビー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
④ 1日当り注入量の算定	$\frac{\text{1日当り充てん材注入量 (標準)}}{\text{今日作業時間}} \times \frac{\text{8 時間/日}}{\text{より}} = 4.0 \frac{\text{m}^3}{\text{日}}$		
	$\frac{\text{1日当り充てん材注入延長} = \text{1日当り充てん材注入量} \div \text{1m当り充てん材注入量}}{\text{= 4.0}} \div \text{0.103} = 38.8 \frac{\text{m}}{\text{日}}$		
	$\text{1日当り充てん材量} = 4.0 \times 1.05 \text{ (割増率)} = 4.2 \frac{\text{m}^3}{\text{日}}$		
	$\text{2号 充てん材 1} = 4.2 \times \frac{0.082}{0.103} = 3.34 \frac{\text{m}^3}{\text{日}}$ <p style="text-align: right;">[積算資料 I -37参照]</p>	$\frac{\text{m}^3}{\text{日}}$	3.34
	$\text{2号 充てん材 2} = 4.2 \times \frac{0.021}{0.103} = 0.86 \frac{\text{m}^3}{\text{日}}$ <p style="text-align: right;">[積算資料 I -37参照]</p>	$\frac{\text{m}^3}{\text{日}}$	0.86
(2) 充てん材ストツパー工	<p>管上半面の既設管とストリツヅ管のクリアランスをモルタルで閉塞する。</p> <p>充てん材ストツパー箇所数</p> $N = 2 \text{ 箇所}$ <p style="text-align: right;">[積算資料 I -39参照]</p>	箇所	2.00
	<p>1箇所当りモルタル量の算定</p> $t = 50 \text{ mm} = 0.05 \text{ m}$ $= 1 \text{ 箇所当り内空面積} \times \text{モルタル厚}$ $= 0.103 \times 0.05 = 0.005 \text{ m}^3$	$\frac{\text{m}^3}{\text{箇所}}$	0.005
(3) 管内注入口工	$N = 48 \text{ 箇所}$ <p style="text-align: right;">35 箇所/日</p>	箇所	48.00
	$N = 59.20 \div 3.0 \times 2 = 40$ $N = 59.20 \div 7.0 = 8$ <p style="text-align: right;">計 48</p> <p>管内注入口は以下の延長に1箇所設ける。</p> <p>・ 左右2箇所に3m以内毎、および管頂部1箇所に7m以内毎</p> <p style="text-align: right;">[積算資料 I -40参照]</p>		

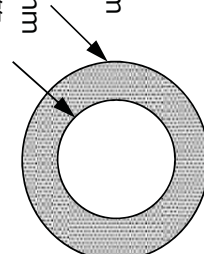
ダンビー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
管口仕上げ工			
(1) 管口仕上げ工	人孔側壁と更生管の管口をエポキシコーキング材で仕上げる。		
	$N = 2 \quad \text{箇所}$	箇所	2
① 下半面摺り付け	<div><div></div><div><p>・ 1箇所当りエポキシコーキング量 (Q) ℓ</p><p>1 m当り充てん材注入量 (q) = 0.103 m3/m</p><p>既設管内空面積 (A1) = 1.131 m2</p><p>更生管下半分内空面積 (A3) = 0.5059 m2</p><p>〔積算資料 I -41参照〕</p>$Q = \{ 1 \text{ m当り充てん材注入量} \times 0.01$$+ (\text{既設管下半分内空面積} - \text{更生管下半分内空面積}) \times 0.05/2 \} \times 1000$$= \{ q \times 0.01$$+ (\frac{A1}{2} - A3) \times 0.05/2 \} \times 1000$$= \{ 0.103 \times 0.01$$+ (\frac{1.131}{2} - 0.5059) \times 0.05/2 \} \times 1000$$= 2.5 \quad \ell / \text{箇所}$<p>よって下半摺付け部1ℓ×1コーキング量は</p>$2.5 \quad \ell / \text{箇所} \quad \times \quad 2.00 \quad \text{箇所} \quad = \quad 5.0 \quad \ell$</div></div>	箇所	2

ダンピー工法数量計算書

名 称	算 定 式	単位	数 量
換気工			
(1) 換気工	1 式	式	1
①軸流ファン	50/60 m ³ /min N = 2 台	台	2
②送風管	φ300mm N = 2 本		

管口仕上がり (取付け管工)

管口仕上がり (取付け管工) は、200mm以下の日進量を基本とし算出する。 積算資料C-10-1より 日進量 ： 5 箇所/日 ※施工は取付管内部の仕上がりとなるが、数量特定が困難である為、右図のように平面積の算出として換算し、日進量を算出する。 矩形型取付管は、円形換算内径とする。 <div>取付管 φ300 の1箇所当りの計算 $V = \pi/4 \times (0.400^2 - 0.300^2) \times 0.010$$\times 1000 = 0.55 \text{ ℓ/箇所}$ ※ 日進量 5 × 0.393 ÷ 0.55 箇所/日</div> 		箇所/日	5.00
補強鉄筋日進量		箇所/日	3.6

(1) 補強鉄筋工		m/日	10.0
・ 主鉄筋		重ね継手長 35 D	
1周当たり長さ		分割数	3
①主筋周長	②重ね継手増分	③一本長さ	小計③×分割数(m)
3.739	0.350	1.597	4.791
更生延長1m当り		鉄筋径	D10
本数/m	計(m)	kg/m	1m当り重量(kg)
4	19.164	0.560	10.73
・ 配力筋			
更生延長1m当り			
①1本当りm		小計(①+②)/①(m)	
5.500		1.000	
1周当たり		鉄筋径	D10
本数/m	総延長(m)	kg/m	1m当り重量(kg)
16	16.000	0.560	8.96
1m当り重量(kg)		19.69 kg	

誘導員等算定表【補助】

φ 1100

更生延長 38.66m

路線3-2		数量	実日数	供用日数	日進量	備考
止水工	管口部	3.46m	0.19		18 m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131
補強鉄筋設置工		38.66m	3.87		10 m/日	見積より
製管工	端部製管	1.50m	0.08		18 m/日	I-24、I-29
	機械製管	37.16m	0.74		50 m/日	I-31
管内注入口工		32箇所	0.91		35 箇所/日	I-16㊦
管口仕上り工(本管)		2箇所	0.92		2.17 箇所/日	I-41
取付管口仕上り工(φ200以下)		2箇所	0.4		5 箇所/日	I-51
充てん材注入工		38.66m	0.91	1.73	42.6 m/日	I-37
合計日数			8.02	1.73		
				2.00	(半日切上げ)	

誘導員B (交代有3人配置)
誘導員A (交代有1人配置)
換気工 (直工)
換気工 (準備工)

8.02日⇒ 8.50 日
8.02日⇒ 8.50 日
8.02日⇒ 8.50 日

0.00日⇒ 0.0日

- ・充てん材注入工日進量算出式: $4 \div 0.094 = 42.6\text{m/日}$
- ・充てん材注入工は補強断面のため、積算資料C-3-1備考3. より1日当り充てん材注入量 $4.0\text{m}^3/\text{日}$ から算出
- ・管口仕上り工日進量算出式: $5 \div 2.3 = 2.17\text{箇所/日}$
- ・管口仕上り工は積算資料C-4-1-1よりエボキシコーキング工 $50/\text{日}$ から算出。

	数量	実日数	供用日数	日進量	備考
既設管洗浄工	38.66m	0.19		200 m/日	I-35
既設管調査工	38.66m	0.08		500 m/日	I-48
合計日数		0.27	0.00	(半日切上げ)	

誘導員B (交代有3人配置)
誘導員A (交代有1人配置)
換気工 (直工)

0.27日⇒ 0.50 日
0.27日⇒ 0.50 日
0.00日⇒ 0.0日

換気工 (準備工)

0.27日⇒ 0.50 日

誘導員等算定表【補助】

φ 1100

更生延長 106. 60m

路線4	数量	実日数	供用日数	日進量	備考
止水工 本管	41. 52m	2. 77		15 m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131
止水工 管口部	3. 46m	0. 19		18 m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131
補強鉄筋設置工	106. 60m	10. 66		10 m/日	見積より
製管工	1. 50m	0. 08		18 m/日	I -24、I -29
端部製管	105. 10m	2. 1		50 m/日	I -31
機械製管	105. 10m	2. 1		50 m/日	I -31
管内注入口工	87箇所	2. 49		35 箇所/日	I -16⑥
管口仕上り工 (本管)	2箇所	0. 92		2. 17 箇所/日	I -41
取付管口仕上り工 (φ200以下)	3箇所	0. 6		5 箇所/日	I -51
取付管口仕上り工 (φ200超え)	2箇所	0. 56		3. 6 箇所/日	I -51
充てん材注入工	106. 60m	2. 50		4. 75	42. 6 m/日
合計日数		22. 87	4. 75		
			5. 00	(半日切上げ)	

誘導員B (交代有3人配置)

誘導員A (交代有1人配置)

換気工 (直工)

換気工 (準備工)

22. 87日⇒ 23. 00 日
22. 87日⇒ 23. 00 日
22. 87日⇒ 23. 00 日

0.00日⇒ 0.0日

- ・充てん材注入工日進量算出式: $4 \div 0.094 = 42.6 \text{ m/日}$
- ・充てん材注入工は補強断面のため、積算資料C-3-1備考3. より1日当り充てん材注入量 $4.0 \text{ m}^3/\text{日}$ から算出
- ・管口仕上り工 (本管) 日進量算出式: $5 \div 2.3 = 2.17 \text{ 箇所/日}$
- ・管口仕上り工 (本管) は積算資料C-4-1-1よりエボキシコーキング工 5 日/日 から算出。

	数量	実日数	供用日数	日進量	備考
既設管洗浄工	106. 60m	0. 53		200 m/日	I -35
既設管調査工	106. 60m	0. 21		500 m/日	I -48
合計日数		0. 74	0. 00	(半日切上げ)	

誘導員B (交代有3人配置)

誘導員A (交代有1人配置)

換気工 (直工)

0. 74日⇒ 1. 00 日
0. 74日⇒ 1. 00 日
0. 00日⇒ 0. 0日

換気工 (準備工)

0. 74日⇒ 1. 00 日

誘導員等算定表【単独】

φ 1100

更生延長 106. 60m

路線4	数量	実日数	供用日数	日進量	備考
モルタル除去工	2箇所	0. 2		10 箇所/日	見積より
合計日数		0. 20	0. 00	(半日切上げ)	

誘導員B (交代有3人配置)

誘導員A (交代有1人配置)

換気工 (直工)

換気工 (準備工)

0. 2日⇒ 0. 50 日
0. 2日⇒ 0. 50 日
0. 2日⇒ 0. 50 日

誘導員等算定表

φ1200

更生延長 68.20m

路線5-2	数量	実日数	供用日数	日進量	備考
止水工 本管	18.85m	1.26		15 m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131
止水工 管口部	7.54m	0.42		18 m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131
補強鉄筋設置工	68.20m	6.82		10 m/日	見積より
製管工	1.50m	0.08		18 m/日	I-24、I-29
端部製管	66.70m	1.33		50 m/日	I-31
機械製管	56箇所	1.6		35 箇所/日	I-16⑥
管内注入口工	2箇所	1.00		2 箇所/日	I-41
管口仕上工(本管)	1箇所	0.2		5 箇所/日	I-51
取付管口仕上工(φ200以下)	1箇所	0.28		3.6 箇所/日	I-51
取付管口仕上工(φ200超え)	68.20m	1.76	3.34	38.8 m/日	I-37
充てん材注入工					
合計日数		14.75	3.34		
			3.50	(半日切上げ)	

誘導員B (交代有3人配置)
誘導員A (交代有1人配置)
換気工 (直工)
換気工 (準備工)

14.75日⇒ 15.00 日
14.75日⇒ 15.00 日
14.75日⇒ 15.00 日
0.00日⇒ 0.0日

- ・充てん材注入工日進量算出式: $4 \div 0.103 = 38.8\text{m/日}$
- ・充てん材注入工は補強断面のため、積算資料C-3-1備考3. より1日当り充てん材注入量 $4.0\text{m}^3/\text{日}$ から算出
- ・管口仕上工(本管)日進量算出式: $5 \div 2.5 = 2.0\text{箇所/日}$
- ・管口仕上工(本管)は積算資料C-4-1-1よりエボキシコーキング工 5日/日 から算出。

	数量	実日数	供用日数	日進量	備考
既設管洗浄工	68.20m	0.34		200 m/日	I-35
既設管調査工	68.20m	0.14		500 m/日	I-48
合計日数		0.48	0.00	(半日切上げ)	

誘導員B (交代有3人配置)
誘導員A (交代有1人配置)
換気工 (直工)

0.48日⇒ 0.50 日
0.48日⇒ 0.50 日
0.00日⇒ 0.0日

換気工 (準備工)

0.48日⇒ 0.50 日

誘導員等算定表【単独】

φ1200

更生延長 68.20m

路線5-2	数量	実日数	供用日数	日進量	備考
モルタル除去工	4箇所	0.4		10 箇所/日	見積より
合計日数		0.40	0.00	(半日切上げ)	

誘導員B (交代有3人配置)
誘導員A (交代有1人配置)
換気工 (直工)
換気工 (準備工)

0.4日⇒ 0.50 日
0.4日⇒ 0.50 日
0.4日⇒ 0.50 日

誘導員等算定表

φ1200

更生延長 91.50m

路線6	数量	実日数	供用日数	日進量	備考
止水工 本管	7.54m	0.5		15 m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131
止水工 管口部	7.54m	0.42		18 m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131
補強鉄筋設置工	91.50m	9.15		10 m/日	見積より
製管工 端部製管	1.50m	0.08		18 m/日	I-24、I-29
製管工 機械製管	90.00m	1.8		50 m/日	I-31
管内注入口工	75箇所	2.14		35 箇所/日	I-16⑥
管口仕上り工(本管)	2箇所	1.00		2 箇所/日	I-41
取付管口仕上り工(φ200超え)	1箇所	0.28		3.6 箇所/日	I-51
充てん材注入工	91.50m	2.36		4.48	I-37
合計日数		17.73	4.48		
			4.50	(半日切上げ)	

誘導員B (交代有3人配置)
誘導員A (交代有1人配置)
換気工 (直工)
換気工 (準備工)

17.73日⇒ 18.00 日
17.73日⇒ 18.00 日
17.73日⇒ 18.00 日
0.00日⇒ 0.0日

- ・充てん材注入工日進量算出式: $4 \div 0.103 = 38.8 \text{ m/日}$
- ・充てん材注入工は補強断面のため、積算資料C-3-1備考3. より1日当り充てん材注入量 $4.0 \text{ m}^3/\text{日}$ から算出
- ・管口仕上り工(本管)日進量算出式: $5 \div 2.5 = 2.0 \text{ 箇所/日}$
- ・管口仕上り工(本管)は積算資料C-4-1-1よりエポキシコーキング工 5 日/日 から算出。

	数量	実日数	供用日数	日進量	備考
既設管洗浄工	91.50m	0.46		200 m/日	I-35
既設管調査工	91.50m	0.18		500 m/日	I-48
合計日数		0.64	0.00	(半日切上げ)	

誘導員B (交代有3人配置)
誘導員A (交代有1人配置)
換気工 (直工)

0.64日⇒ 1.00 日
0.64日⇒ 1.00 日
0.00日⇒ 0.0日

換気工 (準備工)

0.64日⇒ 1.00 日

誘導員等算定表【単独】

φ1200

更生延長 91.50m

路線6	数量	実日数	供用日数	日進量	備考
モルタル除去工	2箇所	0.2		10 箇所/日	見積より
合計日数		0.20	0.00	(半日切上げ)	

誘導員B (交代有3人配置)
誘導員A (交代有1人配置)
換気工 (直工)
換気工 (準備工)

0.1日⇒ 0.50 日
0.1日⇒ 0.50 日
0.1日⇒ 0.50 日

誘導員等算定表

φ 1200

更生延長 59.20m

路線7	数量	実日数	供用日数	日進量	備考
止水工 本管	3.77m	0.25		15 m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131
止水工 管口部	4.71m	0.26		18 m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131
補強鉄筋設置工	59.20m	5.92		10 m/日	見積より
製管工 端部製管	1.50m	0.08		18 m/日	I-24、I-29
製管工 機械製管	57.70m	1.15		50 m/日	I-31
管内注入口工	48箇所	1.37		35 箇所/日	I-16⑥
管口仕上げ工(本管)	2箇所	1.00		2 箇所/日	I-41
取付管口仕上げ工	1箇所	0.28		3.6 箇所/日	I-51
充てん材注入工	59.20m	1.53	2.91	38.8 m/日	I-37
合計日数		11.84	2.91		
			3.00	(半日切上げ)	

誘導員B (交代有3人配置)
誘導員A (交代有1人配置)

11.84日⇒ 12.00 日
11.84日⇒ 12.00 日
11.84日⇒ 12.00 日

換気工 (直工)
換気工 (準備工)

0.00日⇒ 0.0日

- ・充てん材注入工日進量算出式: $4 \div 0.103 = 38.8\text{m/日}$
- ・充てん材注入工は補強断面のため、積算資料C-3-1備考3. より1日当り充てん材注入量 $4.0\text{m}^3/\text{日}$ から算出
- ・管口仕上げ工(本管)日進量算出式: $5 \div 2.5 = 2.0\text{箇所/日}$
- ・管口仕上げ工(本管)は積算資料C-4-1-1よりエポキシコーキング工 5日/日 から算出。

	数量	実日数	供用日数	日進量	備考
既設管洗浄工	59.20m	0.3		200 m/日	I-35
既設管調査工	59.20m	0.12		500 m/日	I-48
合計日数		0.42	0.00	(半日切上げ)	

誘導員B (交代有3人配置)
誘導員A (交代有1人配置)

0.42日⇒ 0.50 日
0.42日⇒ 0.50 日
0.00日⇒ 0.0日

換気工 (直工)

換気工 (準備工)

0.42日⇒ 0.50 日

止水工 設計使用量

異常箇所集計表(本管部)

内 容	部 位	周長 (m/箇所)	箇所数	補修長 (m)	路 線
侵入水a		3.46	2	6.92	4路線
侵入水b		3.46	10	34.6	4路線
侵入水a		3.77	1	3.77	5-2路線
侵入水b		3.77	4	15.08	5-2路線
侵入水b		3.77	2	7.54	6路線
侵入水b		3.77	1	3.77	7路線
合 計				71.68	

異常箇所集計表(管口部)

内 容	部 位	周長 (m/箇所)	箇所数	補修長 (m)	路 線
侵入水a		3.46	1	3.46	3-2路線
侵入水a		3.46	1	3.46	4路線
侵入水a		3.77	1	3.77	5路線
侵入水b		3.77	1	3.77	5路線
侵入水a		3.77	2	7.54	6路線
侵入水a		3.77	1	3.77	7路線
侵入水b	取付管口部	0.94	1	0.94	7路線
合 計			1	26.71	

止水工数量表

内 容	当初数量 (m)			備 考
本管Y字管注入工 (m)	71.68			止水工
管口Y字管注入工 (m)	26.71			止水工

Y字管注入工法 標準薬液注入量

内 容	本管標準 1m当り注入量 (L)	1日当り 作業量 (m)	1日当り 注入量 (L)
本管部 φ 1100mm	67.9	15	1018.5
本管部 φ 1200mm	67.2	15	1008.0
本管管口部 φ 1100mm	34.0	18	612.0
本管管口部 φ 1200mm	33.6	18	604.8
取付管口部 φ 300mm	52.1	18	937.8

注入量計算

本管部 φ 1100mm 1m 当り注入量計算

標準注入量

下水道施設維持管理積算要領-管路施設編-2020年版 P132より、

$$\begin{aligned} \text{注入範囲 (V)} &= \pi [(D+2H)^2 - D^2] / 4 \times L & V: \text{注入対象土量 (m}^3\text{)} \\ &= \pi L(DH+H^2) & D: \text{管外径 (m)} = 1.1+0.088 \times 2 \\ & & H: \text{注入厚 (0.3m)} \\ & & L: \text{注入幅 (0.6m)} \end{aligned}$$

下水道施設維持管理積算要領-管路施設編-2020年版 P133より、

$$\text{注入量 (Q)} = V \cdot n \cdot \alpha (1 + \beta) \times 1000 \quad Q: \text{標準注入量 (L)}$$

n: 土の間隙率 (40%を標準)

α: 充填率 (60%を標準)

β: 損失係数 (0.1)

上記を代入すると

$$\begin{aligned} \text{注入範囲 (V)} &= \pi \times 0.6 \times (1.276 \times 0.3 + 0.3^2) \\ &= 0.89 \quad \text{m}^3 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{注入量 (Q)} &= 0.89 \times 0.4 \times 0.6 (1 + 0.1) \times 1000 \\ &= 235.0 \quad \text{L} \end{aligned}$$

よって、1箇所当たりの注入量は235.0Lとなる。

1m 当りの注入量は換算し、	67.9	L (周長3.46m/箇所)
----------------	------	----------------

本管部 φ 1200mm 1m 当り注入量計算

標準注入量

下水道施設維持管理積算要領-管路施設編-2020年版 P132より、

$$\begin{aligned} \text{注入範囲 (V)} &= \pi [(D+2H)^2 - D^2] / 4 \times L & V: \text{注入対象土量 (m}^3\text{)} \\ &= \pi L(DH+H^2) & D: \text{管外径 (m)} = 1.2+0.095 \times 2 \\ & & H: \text{注入厚 (0.3m)} \\ & & L: \text{注入幅 (0.6m)} \end{aligned}$$

下水道施設維持管理積算要領-管路施設編-2020年版 P133より、

$$\text{注入量 (Q)} = V \cdot n \cdot \alpha (1 + \beta) \times 1000 \quad Q: \text{標準注入量 (L)}$$

n: 土の間隙率 (40%を標準)

α: 充填率 (60%を標準)

β: 損失係数 (0.1)

上記を代入すると

$$\begin{aligned} \text{注入範囲 (V)} &= \pi \times 0.6 \times (1.39 \times 0.3 + 0.3^2) \\ &= 0.96 \quad \text{m}^3 \\ \text{注入量 (Q)} &= 0.96 \times 0.4 \times 0.6 (1 + 0.1) \times 1000 \\ &= 253.4 \quad \text{L} \end{aligned}$$

よって、1箇所当たりの注入量は253.4Lとなる。

1m 当りの注入量は換算し、	67.2	L (周長3.77m/箇所)
----------------	------	----------------

本管管口部φ1100mm 1m当り注入量計算

標準注入量

下水道施設維持管理積算要領-管路施設編-2020年版 P132より、

$$\begin{aligned} \text{注入範囲 (V)} &= \pi [(D+2H)^2 - D^2] / 4 \times L & \text{V: 注入対象土量 (m}^3\text{)} \\ &= \pi L(DH+H^2) & \text{D: 管外径 (m)=1.1+0.088} \times 2 \\ & & \text{H: 注入厚 (0.3m)} \\ & & \text{L: 注入幅 (0.6m)} \end{aligned}$$

下水道施設維持管理積算要領-管路施設編-2020年版 P133より、

$$\begin{aligned} \text{注入量 (Q)} &= V \cdot n \cdot \alpha (1 + \beta) \times 1000 & \text{Q: 標準注入量 (L)} \\ & & \text{n: 土の間隙率 (40\%を標準)} \\ & & \alpha: \text{充填率 (60\%を標準)} \\ & & \beta: \text{損失係数 (0.1)} \end{aligned}$$

上記を代入すると

$$\begin{aligned} \text{注入範囲 (V)} &= \pi \times 0.6 \times (1.276 \times 0.3 + 0.3^2) \\ &= 0.89 \text{ m}^3 \\ \text{注入量 (Q)} &= 0.89 \times 0.4 \times 0.6 (1 + 0.1) \times 1000 \\ &= 235.0 \text{ L} \end{aligned}$$

管口部の場合は注入量1/2とする。

よって、1箇所当たりの注入量は117.5Lとなる。

1m当りの注入量は換算し、	34.0	L (周長3.46m/箇所)
---------------	------	----------------

本管管口部φ1200mm 1m当り注入量計算

標準注入量

下水道施設維持管理積算要領-管路施設編-2020年版 P132より、

$$\begin{aligned} \text{注入範囲 (V)} &= \pi [(D+2H)^2 - D^2] / 4 \times L & \text{V: 注入対象土量 (m}^3\text{)} \\ &= \pi L(DH+H^2) & \text{D: 管外径 (m)=1.2+0.095} \times 2 \\ & & \text{H: 注入厚 (0.3m)} \\ & & \text{L: 注入幅 (0.6m)} \end{aligned}$$

下水道施設維持管理積算要領-管路施設編-2020年版 P133より、

$$\begin{aligned} \text{注入量 (Q)} &= V \cdot n \cdot \alpha (1 + \beta) \times 1000 & \text{Q: 標準注入量 (L)} \\ & & \text{n: 土の間隙率 (40\%を標準)} \\ & & \alpha: \text{充填率 (60\%を標準)} \\ & & \beta: \text{損失係数 (0.1)} \end{aligned}$$

上記を代入すると

$$\begin{aligned} \text{注入範囲 (V)} &= \pi \times 0.6 \times (1.39 \times 0.3 + 0.3^2) \\ &= 0.96 \text{ m}^3 \\ \text{注入量 (Q)} &= 0.96 \times 0.4 \times 0.6 (1 + 0.1) \times 1000 \\ &= 253.4 \text{ L} \end{aligned}$$

管口部の場合は注入量1/2とする。

よって、1箇所当たりの注入量は126.7Lとなる。

1m当りの注入量は換算し、	33.6	L (周長3.77m/箇所)
---------------	------	----------------

取付管口部 (取付管 φ 300) 1 箇所当りの注入量計算

注入量計算

下水道施設維持管理積算要領(2020年版)p127より、
注入量 $Q=98\text{L}/\text{箇所}$ のため、
1箇所当りの注入量は、 98L となる。

管口部の場合は注入量 $1/2$ とする。
よって、1箇所当りの注入量は、 49L となる。
 m に換算すると、 $49\text{L}/\text{箇所} \div 0.94\text{m}/\text{周長} = 52.13\text{L}$

よって、 1m 当りの注入量は、**52.1 L**

Y字管注入工法 止水セメント量

内 容	本管標準 m当り使用量 (kg/m)	1日当り 作業量 (m)	1日当り 止水セメント使用量 (L)	適用
本管部 φ 1100mm	5.23	15	78.45	下水道施設維持管理積算要領2020 p133
本管部 φ 1200mm	5.23	15	78.45	下水道施設維持管理積算要領2020 p133
本管管口部 φ 1100mm	3.14	18	56.52	下水道施設維持管理積算要領2020 p133
本管管口部 φ 1200mm	3.14	18	56.52	下水道施設維持管理積算要領2020 p133
取付管口部 φ 300mm	3.14	18	56.52	下水道施設維持管理積算要領2020 p133